

2024年度

やればできる、やれば上がる。

# 合格体験記



# 報徳

報徳学園進路指導部発行

## はじめに

### 合格体験記発行に寄せて

校長 川口 直彦



今年度も『合格体験記』を発行できることを大変嬉しく思います。この『合格体験記』にご寄稿下さったすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、報徳学園は“スポーツの盛んな進学校”として、その名を日本全国に轟かせています。特に大学進路実績では、毎年難関国公立大学や有名私立大学などに数多く合格してくれています。本校のクラブ活動の活躍は、メディア等によってリアルタイムに世間の皆様が広く知るところとなっています。しかし、学習面においては大学合格者数だけで学校が評価されることがあります。私たちは、そのようなことがないように、生徒一人ひとりの弛まぬ努力はもちろんのこと、先生方の熱意あるご指導、そして保護者の方々の温かいサポートなどを少しでも皆様に紹介できればと考え、この『合格体験記』を作成しています。また、大学受験を控える現役の生徒諸君の一助になれば幸いです。

『二宮翁夜話』に次のような話があります。

翁曰はく、仏者も釈迦が有り難く思はれ、儒者も孔子が尊く見ゆるうちは、よく修行すべし。その地位に至る時は、国家を利益し、世を救ふの外に道なく、世の中に益ある事を勤むるのほかに道なし。たとふれば山に登るがごとし。山の高く見ゆるうちは勤めて登るべし。登りつめればほかに高き山なく、四方ともに眼下なるがごとし。この場に至りて、仰ぎていよいよ高きはただ天のみなり。ここまで登るを修行と言ふ。天のほかに高きものありと見ゆるうちは、勤めて登るべし、学ぶべし。

二宮尊徳先生は、人の一生を登山に例え、高い山、すなわち目標に向かって努力することの大切さを説いています。このことは生涯継続しなければならず、それを修行と呼んでいます。本校の生徒諸君には、自分の徳を生かし、相手を慈しむ、誇り高き「報徳生」として、自分の人生を目標に向かい、しっかりと歩んでもらいたいと思っています。

最後に、この『合格体験記』を読んだ君たち自身が、次は体験記に寄稿してくれることを願っています。また、体験記を手にして頂いた皆様方のご健康とご多幸をお祈りしつつ、報徳学園の生徒たちを温かく見守って頂きたいと存じます。

# 目次

## 進学先

岩田 温愛 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	京 都 大 学 工 学 部	2
畑中 柝哉 (伊丹市立北中学校) <Ⅲ-10>	大 阪 大 学 基 礎 工 学 部	3
福崎 裕 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	北 海 道 大 学 総 合 理 系	4
志谷 晴喜 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	神 戸 大 学 工 学 部	4
藤原 一寿 (西宮市立瓦木中学校) <Ⅲ-10>	大 阪 公 立 大 学 農 学 部	5
加藤 賢治 (伊丹市立天王寺川中学校) <Ⅲ-10>	兵 庫 県 立 大 学 工 学 部	5
安樂 昊 (神戸市立雲雀丘中学校) <Ⅲ-10>	広 島 大 学 理 学 部	6
木村 優太 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	北 海 道 教 育 大 学 教 育 学 部	6
額田 輝 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	富 山 大 学 工 学 部	7
白倉 宗真 (西宮市立大社中学校) <Ⅲ-7>	愛 媛 大 学 理 学 部	7
西 隼人 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	愛 媛 大 学 法 文 学 部	8
仲田 怜英 (西宮市立瓦木中学校) <Ⅲ-7>	徳 島 大 学 理 工 学 部	8
大泉 勇人 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	徳 島 大 学 理 工 学 部	9
桑田 利也 (宝塚市立御殿山中学校) <Ⅲ-7>	高 知 大 学 農 林 海 洋 学 部	9
近藤 凌央 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	山 口 大 学 工 学 部	10
山田 凌功 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	鳥 取 大 学 工 学 部	10
横山 陽哉 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-8>	早 稲 田 大 学 商 学 部	11
岡本 墨 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-9>	早 稲 田 大 学 スポーツ科学部	12
林 純司 (長浜市立びわ中学校) <Ⅲ-5>	慶 応 義 塾 大 学 環 境 情 報 学 部	12
富田 幸暉 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-2>	関 西 学 院 大 学 文 学 部	12
内山 翼 (西宮市学文中学校) <Ⅲ-4>	関 西 学 院 大 学 法 学 部	13
堂下 優成 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-8>	関 西 学 院 大 学 法 学 部	13
柚之上 暁斗 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-9>	関 西 大 学 社 会 学 部	14
中井 麻音 (神戸市立本山南中学校) <Ⅲ-6>	関 西 大 学 人 間 健 康 学 部	15
渡邊 壮貴 (西宮市立上ヶ原中学校) <Ⅲ-10>	同 志 社 大 学 理 工 学 部	15
竹内 慶悟 (伊丹市立笹原中学校) <Ⅲ-4>	立 命 館 大 学 食 マネジメント学部	16
福江 泰河 (山口市立湯上中学校) <Ⅲ-2>	近 畿 大 学 経 済 学 部	16
谷 春樹 (尼崎市立武庫中学校) <Ⅲ-3>	甲 南 大 学 経 済 学 部	16
村上 拓之 (神戸市立湊川中学校) <Ⅲ-5>	龍 谷 大 学 文 学 部	17
岡本 直也 (宝塚市立第一中学校) <Ⅲ-4>	追 手 門 学 院 大 学 国 際 学 部	17
益山 功也 (伊丹市立南中学校) <Ⅲ-3>	大 阪 体 育 大 学 スポーツ科学部	17
吉岡 太門 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-8>	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学 ア ジ ア 太 平 洋 学 部	18



# 合格体験記

## 京都大学

入学コース▷Ⅱ進コース  
囲碁将棋部/数学研究部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 岩田 温愛



### ・六年間の思い出

中学の三年間は入学祝いにもらったスマホやら最新のゲーム機やらで友達と遊び呆けていた。また中学二年生までは親元を離れ祖母の家で寝泊まりしており、一緒に暮らしていた叔父に毎週のように遊びにつれていってもらっていた。そういうわけで学校の生活を思い出せと言われて「あの時はくだらないギャグを友達と言いついて中高一貫校特有の受験を考えることなくゆるやかに流れる時間を享受していたなあ」と思い返せる程度である。しかし、これは一種のモラトリアムのようなものであったのかもしれない。実際、私はそのおかげで高校生活、受験生活をストレスフリーで送ることができたように思える。勿論これは中高一貫校の魅力である。

高校の三年間は中学とは一転して只管学問に耽っていた…というわけでは、実はない。

1日10時間以上机に向き合うことが二週間続くとときもあれば、一か月間何もしなかったときもあった。私は誰に似たのかひどい飽き性なのであった。それでも学問に対する興味が枯渇しなかったのはやはり数学研究部という存在が大きいだらう。高校一年時、数学の授業にて数学オリンピックの話題が挙がった。私は丁度赤チャートと呼ばれている参考書を読み進め着々と成績を伸ばしていたため、(実際には本当にそのためかはわからないが)授業後に数学研究部の入部を勧められた。その際、「考えておきます」と曖昧な返事をしたせいで勝手に入部したことになるので皆さんは曖昧な返事をしないように気を付けましょう。幸い?この場合は事が良い方に転じた。放課後、案内された教室へ向かうとそこで自分とは比べ物にならないほど優秀な先輩たちと好奇心をくすぐるのが上手な先生方が自分の知らない世界の話をしていて。私の世界の見方が変わったのはここからであった。それからは毎週三日ほど下校時間ギリギリまで先輩方と勉学に励み研鑽しあった。先輩方から発せられる会話は常に斬新で中学の間変わるものなかつた私の世界は日々更新されていった。だからこそ、この六年間で平凡からほど遠く一番印象に残った思い出は間違いなく数学研究部での日々である。このような機会を与えてくださった報徳学園とその先生方にはこの場を借りて感謝申し上げます。

### ・進路を決めたいきさつ

昔からある程度自分のやりたいことが定まっており、それが学べて尚且つあまり関係のないことも学べる自由な校風にあこがれて高校一年生のときに京都大学に行こうと決めた。

### ・勉強方法、時間の使い方

上記の六年間の思い出を読んでもいただければわかると思うが、私はだいたいぶいい加減な勉強をしていたのであまり参考にしないほうが良い。というか反面教師のように扱って

くれたほうが良いかもしれない。

具体的にありのまま高校三年次の様子を追っていく。

**4～6月:** そろそろ物理化学に手を付けるかと思い『物理のエッセンス』と『名門の森』、そして『化学重要問題集』を2～3周ほど読む。

**夏休み:** 誤って?長年の夢だったデスクトップPCを購入。この時の勉強時間は0である。これは誇張などではなく冗談抜きで任意の正の実数 $\varepsilon$ に対して $|\text{勉強時間}| < \varepsilon$ が成り立ってしまうのである。

**秋休み:** 深く反省して教室から拝借した『京大の化学27カ年』、『京大の物理27カ年』を一周。この時の勉強時間は任意の実数Mに対して $M < \text{勉強時間}$ が成り立つ勢いであった。勿論これは誇張である。

**10月～11月:** 英語の過去問を片手に、上記の物化の参考書のやり直しに取り掛かる。

**12月:** 共通テストの地理と国語を死に物狂いで頭に詰め込む。

**1月～試験直前:** 数学、国語の過去問を交えて只管全教科の過去問演習。

### ・入試の攻略方法

京都大学の入試は全教科難解でその対策法は過去問演習あるのみだと思う。

**数学:** 他の大学は理系なら数Ⅲの分野が難しい問題として出題されるが京都大学は逆に数ⅡB数ⅠAの難問が中心で数Ⅲの問題が出たらむしろ解けなくてはいけない。気を付けておくべき頻出分野としては確率漸化式、四面体、複素平面、整式、整数である。

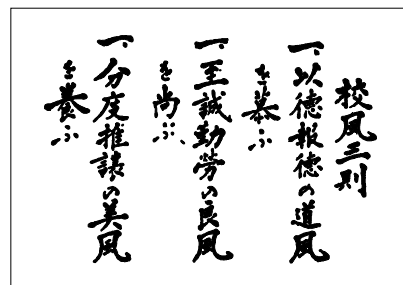
**英語:** そもそも文章が難解で英語が読めることは当たり前として高得点を取ろうと思えば科学、哲学などの素養が必要である。またすべて記述式であることからある程度の語彙力を身に付けておくことをおすすめする。しかし、覚えておいてほしいのは単なる自然言語であるということである。難しく考えすぎるともまた沼にはまる要因となる。そして英作文は毎日欠かさずやろう。

**国語:** 過去問演習を積み合格平均はとれるようになる。

**物理:** 誘導が丁寧であるため読解力があれば『物理のエッセンス』だけで8割付近は安定する。私は『名門の森』をやったが暇つぶし程度にしかならなかった。

**化学:** 私が思うに一番理不尽な試験である。過去問を積んだところで平気な顔して我々の知らないことを出題してくるので相当化学に対する造詣が深くないと時間内で解ききれない。ゆえに重要なのは基本を疎かにせず、解ける問題を解くことである。

偉そうに長々と書いてしまったが、少しでも参考になれば幸いです。



## 大阪大学

入学コース▷選抜特進コース  
バスケットボール部  
伊丹市立北中学校出身

### Ⅲ-10 畑中 柊哉



僕は1年間の仮面浪人生活の末、大阪大学に合格した畑中柊哉といいます。仮面浪人とは他大学に通いながら浪人することをいいます。受験生のための合格体験記というのですが、ここからは主に、仮面浪人という特殊な選択をした僕だからこそ伝えられることと伝えたいこと、そして受験生になってからの勉強方法についてお伝えしたいと思います。

なぜ僕が仮面浪人という選択をしたのかというと、自分の進路先に納得することができなかったからです。僕は、高校時代に部活をやり切ることができず、とても悔しい思いをしていました。大学でこそ、思い切り部活をやりきりたいという一心で受験勉強を頑張ってきましたが、現役の時は大阪大学に不合格になってしまいました。家庭の事情で浪人はできなかったため、別の大学に進学して、部活をやるうと考えましたが、諸事情によりその大学では部活ができませんでした。それでも、部活がやりたいと思ったから大阪大学をもう一度受験することに決めました。仮面浪人をしようと思った時の覚悟は人一倍あったと思います。そして、その時の気持ちを1年間忘れなかったことが、今年の合格の一因になったのかなと思います。ここで伝えたいのは、志望校を決めたときや、受験勉強を始めた時の気持ちを絶対に忘れないでほしいということです。1日1回でもいいので、その時の気持ちや覚悟を思い出すという作業をすることで、気持ちを奮い立たせることができます。

次に、僕が受験を成功させるためにやっていたことを記したいと思います。まず、自分を責めないということです。勉強が好きなら良いのかもしれませんが、多くの人は僕と同じように勉強が嫌いだと思います。それでも、毎日勉強するしかないのだから、勉強し続けていると思います。それだけで、素晴らしいことだと自分を認めてあげることになりました。高校3年生の時は、今日は何時間も休憩してしまっただとか、食事に時間をかけすぎているのではないかと、というふうに自分のやらなかったことばかりに目を向けていました。そのせいで気分が落ち込んでしまっているのは、悪循環におちいるだけだと思いました。目標は、長く勉強することではなく、志望校に合格することだという当たり前のことをわかっていなかったのが、高校3年時に落ちてしまった原因かなと思います。勿論、時には自分を責めることも大切だと思います。ただし、責めすぎないということだけは忘れないでください。

僕は高校時代、ほとんど遊びに行くことがありませんでしたが、浪人中は頻りに遊びに行きました。なぜなら、一日の中で2時間は無駄にしてしまっているということに気づいたからです。悶々として何にも手につかない時間があるのなら、遊びに行って友達と話すほうがかなり有益になると気づいたのです。受験生は遊んではいけないという風潮が世に蔓延っていますが、そんなものに流されず、時には思い切り羽を伸ばすということも受験生にとって必要なかもしれません。ただし、遊びに行く時は時間を決めて感染対策をするなど、リスクヘッジはしっかりと行い、メ

リハリをつけるということは絶対に必要だと思います。

ここからは勉強方法について記していきたいと思います。まず伝えたいのは、1つ1つの模試を本番のように受けてほしいということです。模試というのは実力を測るだけでなく、試験室という環境になれる意味もあると思います。特に、旧帝大などを受ける人は、冠模試を本番だと思ってしっかりと準備をしたほうが良いと思います。ここでいう準備とは、過去問に手をつけるということではなく、全範囲満遍なく解けるところまで実力を上げていくということです。だからといって、冠模試をゴールだと思ってしまって、そこから気が抜けてしまうというのも避けなければいけません。非常に難しいとは思いますが、冠模試というのはゴールであるにも関わらず、過程であるというイメージです。すべての教科について僕がやったのは、同じ参考書をひたすらやり込むということです。物理や化学については1冊の参考書を少なくとも5、6回は解きました。10回以上解いた問題もあったと思います。ここまでやると、答えを覚えてしまうこともあります。すると、多くの人は意味がないと考え、解くのをやめてしまうと思います。そこを一步踏ん張って、一つ一つの思考過程を明確にしながら解いてみると、前回とは違った発見や発想または出題者の意図(抑えてほしいポイント)などが見えてくると思います。そのような発見をすること自体が成長の一つだと思います。

英語については、まずはとにかく簡単な長文を読み、単語を覚えることが大切だと思います。僕は単語帳を見ても初めは全く覚えられなかったため、とにかく簡単な長文を読み、単語に接触する機会を増やしました。そうすると、単語に対する拒絶反応が段々と小さくなり、少ないストレスで単語を覚えられました。単語を覚えられたら、次は、英文解釈の勉強をしました。そして、そのあとに難しい長文を読んでみるとスラスラと読めました。英語は1回1回の勉強や復習を丁寧にすることが大切だと思います。

次に、数学ですが、僕は青チャートが合わなかったため、基礎問精巧そして、標問精巧やプラチカ、ハイ完を使って勉強しました。また、はじめからは始める数学という参考書も使いました。初めは教科書の簡単な問題すら手に負えませんでした。が、一步一步進んでいるうちに、なんと大阪大レベルの問題が解けるようになりました。とにかく自分の実力を客観的に見て、その時々レベルにあった参考書を使うということが合格への近道かなと思います。

最後に、物理化学ですが、物理は名門と重問、化学は重問を使いました。長くなり、話も飛び飛びになりましたが、勉強について伝えたいことは伝えられたかなと思います。ここまで偉そうに文を書きましたが、この文は今年、僕が運良く大阪大学に合格できたから書いただけなのです。もしかしたら、僕はたまたま合格しただけなのかもしれません。なので、僕の伝えたことを鵜呑みにするのではなく、自分の中で咀嚼し、必要なことだけを吸収して、この文章が皆さんの受験の一助になればこれほど嬉しいことはありません。

この文章は正解ではなくあくまで一意見であるということをお忘れなく。昨年、僕のクラスメイトである井上君が、神大までは努力でいけるが阪大以上には才能が必要であるという言説があるが、それは間違っていると思うというように書いていました。阪大に特別な才能が必要ないということは、僕が証明しました。次は、誰かが京大にも才能ではなく努力で合格することができるということを証明してくれるのを楽しみにしています。受験生の1年間は、



非常に長く苦しいと思いますが、その先で皆さんが笑えることを祈っています。長くなりましたが、ご精読ありがとうございました。

## 北海道大学

入学コース▷Ⅱ進コース  
ワンダーフォーゲル部/理科研究部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 福崎 裕



### 【たくさんの大学を見学しよう！】

志望校を決める際には、多くの大学を見学しました。報徳学園の大学見学会では、東京大学、大阪大学、早稲田大学、明治大学、東京農業大学を訪れました。志望校には選びませんでした。東京農業大学では研究やクラブ活動について丁寧な案内を受け、大学生活の楽しさを実感しました。家族旅行では観光地だけでなく、必ず大学も訪れました。おそらく20以上の大学を訪れたと思います。多くの大学とその所在地を実際に体験し、高校2年の夏に訪れた深緑の北海道大学に心惹かれました。

北海道大学には総合理系というシステムがあります。通常の大学では農学部などの学部を決めて受験し、1年生からその学部所属しますが、総合理系入試では、医学部、薬学部、農学部、工学部などの学部を決めずに入学し、いろいろな学部を1年生の間に体験、検討して2年生進級時に学部を決めるシステムです。大学に入り、何か具体的に勉強したいことが決まっていなかった場合や、したいことが多くて迷っている人におすすめします。自分は遺伝子を研究する農学部か、創薬を研究する薬学部のどちらかを、ゆっくり時間をかけて考えたいと思い、北海道大学を最終的に志望校とすることに決めました。

これから志望校を決めようと思っている人は、最初から志望校を関西圏の大学に絞ってしまうのではなく、自身が実際に大学を見学して感じたことや、自身が大学に入ってやりたいことから逆算して志望校選びをすることを強くお勧めします。

高校3年に入ると、志望校別の模試が6月から始まります。志望校の選定はできるだけ早く行うべきだと考えます。

### 【得意科目を1つ作ろう！】

国語、数学、英語の中から1つを得意にしてください。私は中学で英検3級、準2級を取得し、高1の春に英検2級を取得しました。また、高校から理科研究部に入学したこともあり、顧問の木下先生のおかげで化学が得意科目となりました。得意科目が2つあれば後は何とかできます。実際に何とかできました。まずは1教科がんばってみてください。

### 【成績は最後に伸びる！】

10月最後の志望校別模試が終わってから、共通テスト対策を始めました。1月13日、14日の本番に向けて、駿台、河合塾、河合塾(学校用)、Z会から出ている共通テスト予想問題パックを週末の土日は本番と同じ時間に同じ科目を解きました。平日は間違った問題の直しや苦手分野の克服に時間をかけました。予想問題パックの成績は、4週間前:65%、3週間前:69%、2週間前:65%、1週間前:74%と、なかなか成績が伸びなかったのですが、本番ではほぼ8割をとることができました。2次試験も最後の1週間で急激に成績が伸びたと感じました。あきらめずに頑張れば成績は最後に伸びます。

次に受験する報徳学園生が第一志望に合格することを願っています。

## 神戸大学

入学コース▷Ⅱ進コース  
書道部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 志谷 晴喜



### ①6年間の思い出

校則が厳しいので自称進学校とか言われたりしますが、そんなことはありませんでした。非常に楽しく、充実した学校生活でした。そして、この場を借りて6年間ご指導くださった先生方に心より御礼申し上げます。

### ②進路を決めたいきさつ

**分野:** 私は自動車に興味があったので、高2の文理選択のとき、理系で工学部に進むことを決めました。自分の最も得意な教科は国語だったので、かなり迷いましたが、「やりたいこと」を最優先しました。

**大学選び:** 高校の大学見学会で、大阪大と神戸大に行きました。旧帝大である大阪大がいいと考えていましたが、神戸大のキャンパスもおしゃれで魅力を感じていました。高3の4月ごろに、折角なら入試難易度の高い大阪大を志望することにしました。しかし、3回ほど受けた阪大模試で最も低いD判定しか出ず、大阪大は厳しいということで最終的に神戸大に出願しました。

### ③勉強方法、時間の使い方

最初に断っておきますが、勉強法は人それぞれ自分に合ったものがあるので、今から書くことは参考程度にして、日々の勉強の中で自分用のものを確立させてください。

**英語:** 単語帳、文法書よりも長文を読んで復習することを重視しました。読んだ直後に、分からなかった単語、熟語を調べて文中に日本語訳を書き、分からなかった文構造を理解する。その次の日に、その文章を音読する、というものです。

ちなみに、私の感じた音読でつく力は、速読力、リスニング力でした。

**数学:** 最頻出の数Ⅲから対策を始め、最も長い時間を割きました。まず授業の数Ⅲ総復習プリント(基礎)を完璧にしました。夏休みに数Ⅲの青チャートをやりましたが多すぎて身につかず、赤本をやり始めると急速に定着していきました。ですので、基礎からやることと量をこなして問題に慣れることが重要だと思います。

**物理:** 苦手な範囲のみリードaを解いた後、重要問題集をしました。重問の2周目については頻出かつ苦手な範囲のみをしました。

**化学:** 知識系は河合塾の「マーク式基礎問題集」を買って詰め込みました。計算系は量よりもパターンを覚えることの方が重要だと思います。

**国語(共通テスト):** 古典単語が覚えられなかったのが、漢文を得点源にしました。

### ④入試の攻略方法

●学校の金スタ(自習室)と金ゼミにかなり救われました。特に金ゼミはほぼマンツーマンだったので、コスパがよかったです。(コースによる)

●塾なしで勉強するなら、学校の授業は内職をせず必ず聴きましょう。

●睡眠は必ず十分な量をとりましょう。勉強中に眠くなる

と集中が一気に切れます。

- 試験直前に速単などで英語の長文を読むとエンジンがかかって英語が解きやすくなります。
- 勉強の合間に散歩に行くとか健康的ですし気分転換になります。
- 本番では解けそうにないと思った問題は迷わず飛ばしましょう。

## 大阪公立大学

入学コース▷選抜特進コース  
理科研究部  
西宮市立瓦木中学校出身

Ⅲ-10 藤原 一寿



高校3年間の思い出で1番心に残っているのは沖縄への修学旅行です。スカッシュを好きなだけやった後にバーで飲み物片手に休憩し、またスカッシュをしにいてそしてご飯を食べて寝るといって最高の生活が送れたのがとても楽しかったです。海は綺麗でご飯も美味しく幸せでした。

進路を決めたきっかけは私の好きな科目が化学の有機化学だったからです。将来の夢も具体的なものはなく、農学部は就職の幅が広いこと、自分の好きな有機化学を研究できることをきっかけに高校2年の夏ぐらいに決めました。大阪公立大学に決めた理由は共通テストと二次の配点が二次の方が高く、そして得意な物理化学が二次の半分を占めていたからです。

休みの日の時間の使い方は7時半ぐらいに起きて8時半ぐらいに勉強する場所(私の場合は蟻田記念館金次郎STUDEO)に着いて、そのまま20時半まで勉強をしていました。私は家が近かったのでその後帰ってご飯、お風呂、休憩をして10時半ぐらいから11時半まで勉強をし、その後12時半までスマホを触ったりなどして休憩をしながら寝る、という生活をしていました。一日中ずっと勉強!ってことはなく一日の勉強時間は10時間ぐらいでした。

勉強で1番手こずったのが地理の勉強です。私は高3の最初の共通テスト模試が進研、河合両方とも20点ぐらいでこれはやばいと夏休みの午前を地理の勉強に使ったのですが基本20点からは変動はなかったです。しかし諦めずに地理にかける時間を減らさずに勉強をしていると最終的には69点がとれました。私なりの地理の勉強方法なんですけど、最初に国の位置と山脈などの地形の位置を覚えるのはマストなことが分かったので、最初に何がなんでも覚える方がいいと思います。その後には年代を覚えることをオススメします。例えば簡単なのだったら1974年ぐらいには石油危機とか何年に何があったのかを覚えていると、共通テストの年代とグラフの問題での国の判断がやりやすくなります。これは地理に限らないのですが共通テストはとにかく数をこなすべきだと思います。過去問は3年分ぐらいしかないですが追試も含めたら合計6個は1つの科目につきあります。そして河合、駿台、Z会の問題(各5回)合わせると21個も共通テストの問題があります。なのでそれらを1回全部12月が終わるまでにはやっておく方がいいと思います。そして1月に入ったら自分のその解いた過去問ないしは共テ問題集の良問(自分がこれは出てきそう、これ分からなかったな)という問題を共テまで解き続けるといった感じの勉強が共通テストには個人的にはいいと思います。私は同じ問題を何度も解くのは賛成派なので(わかってる問題を解くのはあまり意味は無いと思

いますが)しっかりとやり込むことが大切です。二次試験はとにかく過去問をやり込みまくって、何回も解き直すことが大切だと思います。僕は1年辺り2回は最低やって分からなかった年の問題は分かるまでやりました。

最後に私が思う1番大切なことは、分からない問題は恥ずかしがらずに友達や自習室の担任の人、学校の先生にすぐに質問をすることです。分からない問題を分からないまま放置は1番悪いことです。ネットで調べたりでもいいですが、やっぱり人にきいた方が記憶にも残りやすいし分かりやすいです。以上を持って合格体験記を終わらせて頂きます。

## 兵庫県立大学

入学コース▷選抜特進コース  
少林寺拳法部  
伊丹市立天王寺川中学校出身

Ⅲ-10 加藤 賢治



### 1. 六年間の思い出

僕はこの三年間恵まれたクラスメイトのおかげでとても楽しく充実した学校生活を送ることができました。文化祭や体育祭などのクラスで取り組む行事もクラスで一丸となり取り組んだり、普段の学校生活でも笑いの絶えない楽しい日々を過ごすことができ、僕はこのクラスで高校生活を送れたことがとても誇らしく思います。

### 2. 進路を決めたいきさつ

僕はもともと国公立大学の薬学部に入ることを目的に受験勉強をしていたのですが、結果的に共通テストで満足のいく点数をとることができなかったので、共通テスト後は薬学部はあきらめて国公立の工学部を目指すことに決めました。どこの工学部を受験しようか考えたとき、共通テストの判定や2次試験の配点を考えて岡山大学か信州大学か兵庫県立大学の3つまで絞り、結果来年から授業料が無償化になる兵庫県立大学を受験することを決めました。

### 3. 勉強方法、時間の使い方

僕は7月末まで部活をやっていたのでそれまで毎日十分な勉強時間をとることができなかったのですが、部活前や部活後の空いた時間は金次郎スタジオに行って高3の初めから7月までは数物化を中心に勉強し、物理は自分で買った参考書や問題集、化学は先生からもらった授業プリントで知識をいれることを念頭に勉強し、数学は数Ⅲの青チャートをつかって問題演習をしていました。部活を引退した後も、基本毎日金次郎スタジオに行って勉強に取り組み、8月からは国語の古典を金次郎スタジオの対面授業で1から教えてもらい、地理は自分で参考書を買って知識を詰めることから始めて、残りの教科もしばらくは基礎固めを中心に勉強していました。そして、11月ぐらいからようやく大体の教科の基礎が固まってきたので、数学物理化学と古典は共通テスト形式の問題集を新たに買って演習を始めて、英語は週一回共通テストのリーディングとリスニングをまとめて行い、地理は12月に入ってから問題演習に取り組みました。12月~1月までは基本的に一日2~3教科分の共通テストの過去問や予想問題を解いて復習し、知識が入っていなかったところは参考書をもう一度見直したりしていました。共通テスト後は志望校の過去問を2017~2023の分まで赤本を使ってひたすら問題演習していました。



#### 4. 入試の攻略法

- ・遅くとも高3の4月ごろからは部活に区切りをつけて学校以外の時間は自習室に行って勉強する
- ・地理は共通テスト形式の問題をひたすら解きまくると知識がつく。

### 広島大学

入学コース▷選抜特進コース  
体操競技部  
神戸市立雲雀丘中学校出身

Ⅲ-10 **安樂 昊**



#### 1. 3年間の思い出

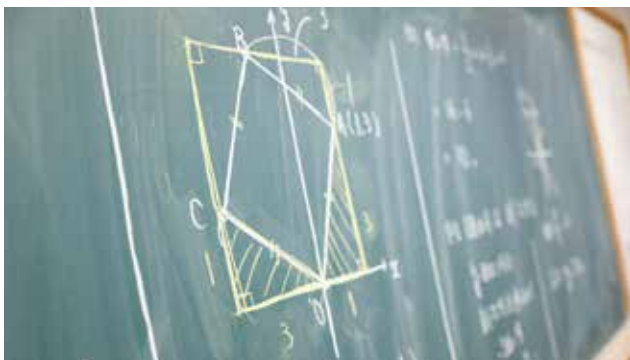
僕は高校から報徳で過ごしました。報徳学園卒業生の先輩から報徳はスポーツだけでなく、勉強のサポートも手厚いと聞き、選抜特進コースを受験しました。部活と勉強の両立において充実した3年間を送ることが出来ました。部員もクラスメートも想像以上に賑やかだったので様々な行事を楽しめました(笑)

#### 2. 進路を決めたいきさつ

まず、僕はテレビで宇宙に関する番組を観て興味を持ち、理学部に決めました。高2から神戸大学に行きたいなあっていう感じである程度勉強していました。そして部活(体操)を引退した高3の夏に広島大学のオープンキャンパスに行き、宇宙関連の研究に感銘を受けました。また、引退した体操が十分に練習できる環境が整っていたというのにも劇的な印象を感じました。このとき自分にとって大好きで大事なものが「宇宙についての研究」と「充実した体操」であると認識し、神大より広大進学への気持ちの方が強くなりました。共テの得点は広大のボーダーより低く、かなり落ち込みました。そんなとき、金スタの先生に「この点数でも俺やったら広大にいく!」と言われ、この言葉をきっかけに「本気で広大にいく!」と決め、担任に意思を示し、受験しました。あのとき心に突き刺さる言葉をかけてくださった金スタの先生と、広大への挑戦を後押ししてくださった担任の先生に感謝しています。

#### 3. 勉強方法

僕は自分のスタンスで無理な計画を立てずに日々勉強をしていました。自分の勉強するリズムを崩したくなかったので、塾や金スタの講座を受けずに自習をしていましたが、自分の勉強スタイルに不安を感じた時は先生に相談し、取り組み方をアドバイスしていただきました。また、二次試験までの残り1か月は演習をさらにつみ、金スタや図書室、進路指導室など室内の雰囲気を変えながら勉強しました。SNSなどのアプリは全く開かずにスマホは連絡するときだけ使っていました。(音楽は勉強時間以外に聴いてました)



#### 4. 入試の攻略法

共通テストに関してはほとんどの科目が時間との勝負です。日々時間を計って取り組んでください。絶対解かないといけない問題か、捨て問かを判断する練習にもなります。二次に関しては演習の繰り返しと解き直しを重視してください。僕の場合、英語をもっと取れるようにしたいと思い、先生に何回も英作文の添削をしていただきました。その先生のおかげで本番では自信を持って取り組みました。入試本番中に関しては次の3つを覚えてもらったら嬉しいです。一つ目は周りの情報を遮断することです。休憩時間はイヤホンなどをしてリラックスすることをおすすめします。二つ目は満点を意識しすぎないことです。入試は定期考査とは全く違うので、一つの問題に固執しすぎず、2、3問は捨てる覚悟で挑んだ方がいいです。三つ目は自分を信じることです。会場には様々な受験生がいるので気落ちしそうになるかもしれませんが、この中では自分が一番だと思って、諦めず信じ抜いてください。いろんな人の合格体験記を読んで自分だけの闘い方を見つけてください。

#### 5. 最後に

受験において学力はもちろん必要ですが、まずは自分の好きなもの、興味のあるものを自覚することが大事です。途中で方向転換してもいいですが、最後は自分の気持ちを貫いてください。“好き”は何かをし続けるための“原動力”です。“好き”という気持ちを持って、個々の目標や夢などに向かって努力し続けていくみなさんを僕は応援しています。

受験生、ガンバ!!

### 北海道教育大学

入学コース▷Ⅱ進コース  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 **木村 優太**



私からは受験期にして後悔したことを伝えようと思う。まず一つ目は勉強 YouTube を見過ぎないことだ。受験を意識し始めたときモチベーションを上げたいときにはおすすめだが、あまりにも見過ぎると情報だけが増えていき、勉強をしていないのに参考書の知識だけある奴になってしまう。そしてそういう奴は大体参考書だけを集めるマニアと化してしまう。実際僕も最初そうっており、市販の参考書ばかりやっていた、そして今でもメルカリで買ったけど手をつけていない参考書が机の上に並んでいる。後輩達にはそんな失敗はしてほしくない、ぜひ自分に合う物に出会ってほしい。2つ目は生活リズムを整えることだ。当たり前のことだと思うかもしれないが、私自身生活リズムが崩れたまま受験を終えてしまった。毎日最後までいてそこから友達と喋ってから帰り、ご飯やお風呂に入ってから2時ぐらいまでダラダラしてる生活を繰り返していた。生活リズムはそんなすぐには変わらないので崩れてる人は早急に直した方がいい。私の後悔としては毎日残る必要がないのに友達と喋りたい、褒めてもらいたいという下心で残っていたことだ。寝不足だとずっと眠い状態が続き、勉強のパフォーマンスが著しく低下してしまう。何もいいことなどないのだ。3つ目には受験を舐めないことだ。何を言ってるんだと思うかもしれないが、受験に最後に必要なのは気持ちだと思っている。誰もが定期テストなどで全く勉強していないにも関わらず謎の余裕があるという経験をしたことがあ



るだろう。その症状は大学受験においても起こるのだ。根拠のない自信ほど怖いものはない、それに負けてはならないのだ。実際私は負けてしまい。共通テストが終わってから勉強に手をつけられなくなり最悪の状態です。2次試験に臨んでしまったのだ。

最後の敵は自分なのだと思えて、受験が終わって今気がついた。この中の一つでも自分に当てはまるなと思った人は危機感を持ったほうがいい。今ならまだ間に合う。これから受験に臨むみんなは自分が納得いく受験生活を送ってほしいと心から望んでいます。

## 富山大学

入学コース▷I進コース  
園芸部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-7 額田 輝



私が大学を視野に入れ始めたのは1年生の1月からでした。それまでの私は数学でいうと三平方の定理を知らない、英語でいうとbe動詞がわからないほどの学力でした。高1では学年の下の方にいました。またゲームは一日14時間位していました。しかしその僕が目指し始めたのは、大阪大学でした。正直自分も「無理かな」や「ネタになるかな」などと考えていました。しかし、僕はしっかりと着実に勉強に目を向けました。そして高校2年生になれば勉強しない日はないほどに勉強しました。しかし、それなのにもかかわらず、大阪大学に共通テストで阻まれ諦めました。ここで私が伝えたいことはいくつかあります。

まず1つ目今日何をするかを漠然と考えるよりも将来つまり大学の入試を見通して、今日の勉強をする。これにつきます。今日何をやるか、得意科目だけやっても正直共通テストで阻まれます。2つ目は自分の身の丈に合った参考書です。確かにレベルが上のものをしていたらカッコいいですし賢いと思われるかもしれませんが、そこは恥をしのいでも、基礎ができていないならば基礎をすべきです。大学数学に興味がある人にとって確かに大学数学などは魅力的で美しいです。けれども正直大学入試では大体出ません。なので効率が悪いのでやらないほうがいいです。もしやりたいのであれば休憩中に解くのがおすすめです。それをする前に共通テストは8割超えてからしたほうがいいです。3つ目しんどいと思ってもやり続けることです。勉強が嫌だ、しんどいと思う日がいつか必ず来ます。しかし、それはレベルアップの1歩目です。それを耐え忍べば必ずレベルアップできます。こんな感じに言われても正直わからないと思いますがやってみれば分かります。僕は勉強が別に苦ではありませんでした。しかし勉強したくない、やめてしまいたいと考えたりもしました。しかし今までの自分がここで諦めてしまったら可哀想と思い勉強を続けました。泣きながらでも勉強しました。それのおかげで僕は大学をしっかりと志願できるまでになりました。そして最後にもっとも重要なことを言います。自分を信用し自分を信じることです。

ではここまで読んでもらいありがとうございました。

## 愛媛大学

入学コース▷特進コース  
西宮市立大社中学校出身

Ⅲ-7 白倉 宗真



### ・志望校について

僕が進路を決めた経緯は、「一人暮らしがしたい」という思いがあったことと、金銭的に私立大学で一人暮らしは厳しかったため国立大学を目指そうと決めました。

初めは関東の大学を目指していましたが、共通テストが思っていたような点が取れず、愛媛大学に切り替えました。

### ・勉強方法

僕は理系で特に理科が得意だったので、理科の勉強法を紹介しようと思います。

物理に関しては、とにかく力学を得点源にできるよう演習を積んでいってください。

大抵の問題が運動方程式、エネルギー保存、運動量保存を使うパターンのどれかで解けることに気付くと思います。

次に電磁気を固め、最後に波動、熱力学、原子をある程度のレベルまで解けるようにすれば、現役生ならなんとかなる気がします。

物理はどの分野も共通して、定義の理解に重点を置いて勉強して欲しいです。公式を覚えてただ解けている状態では初見の設定と出会った時に解けなくなってしまいます。

化学に関しては、有機を得点源にするのがいいと思います。官能基の検出法を暗記し構造決定を解きまくることでだんだんできるようになっていくものだと思います。「なんでこの2パターンが一つに決められるのか」の解説を読む時に常に意識し蓄積していってください。脳内で言語化していくと忘れにくいと思います。

理論は理解が難しいと思うので、教科書や講義系参考書を問題集とセットで使い勉強するのがおすすめです。疑問が生じたらすぐ調べる癖をつけてください。

無機は気合いで覚えるしか無いと思います。

理系科目に共通して言えることは、解説を読んで終わりにしないということです。解説を読み同じ問題をもう一度正解までの道筋が自分で正確に再現できるようになるまでが取り組んでください。

### ・最後に

ここで紹介した勉強法はあくまで一例なので、これが正解というわけではありません。

受験勉強をしていく中で常に考え、何回も改良し独自の勉強法を確立していってください。

皆さんの受験生活が良いものになることを願っています。悔いの残らないように頑張ってください。応援しています。



## 愛媛大学

入学コース▷Ⅱ進コース  
放送部/吹奏楽部/園芸部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 西 隼人



合格体験記といえば文字通り、合格に至るまでの道筋を書くものだろうとは思いますが、十人十色、いろいろな道筋があるとおもいます。しかし個人的な考えとして、結局進路決定も勉強方法も人によって違うので、参考としては非常に良いかもしれませんが結局書いてあることの通りにことが進むなんてことはないでしょうし、勉強方法だっていろんな人がいろんな方法を書いていると思います。したがって勉強方法はそちらを参考にしてみてください。代わりに、僕は心構えのようなものを書かせていただこうかなと思います。ちょっと上から言っているように感じるかもしれませんがご容赦ください。

まず大前提として、受験勉強はしんどいものです。当たり前ですね、しんどくない人はほんのごくごく一部の上位層、それこそ東大を主席で入学するとかいう想像もつかないレベルで頭のいい人でしょう。ごく一般人はみんなしんどいものです。

12月の中旬か下旬くらいまでは何か些細な事をご褒美にしたりすることでモチベーションを保てるでしょうが、1月から2次試験が終わるまではほとんど消耗戦です。ここで折れるか折れないかです。文字通り精神すり減らして勉強に臨むこととなります。特に国立大学を目指している人は、最後のほうになってくるにつれて周囲の進路が決定しますので、それで流されて滑り止めに行く人も一定数いるそうです。勉強に耐えられなくなってしまいうてことです。

よってまず一つ言えることは、それなりの精神力を持っておいたほうがいい、ということです。長期間の受験勉強に耐えられる精神力を持っておかないと心が折れてしまいます。

次に、特にやりたいことも決まってない、将来の夢も全く考えてない、でも大学受験はする、というのは間違いなくやめたほうがいいです。もしそうなら就職も視野に入れておくほうが身のためです。大学を現役で入らないといけないということは決してありません。大学は何歳からでも入ろうと思えば入れますから、いつかやりたいことが本当にできるまでは、心削ってまで受験勉強をしてまで大学にこだわる必要はないと思います。

それに、ほんやりとした感じで、もし大学に入れたとして、行った学部学科がたまたまマッチしていたならまだしも、そうでないことのほうが多いと思います。そうなると一番しんどいのは間違いなく自分です。絶対に「どうして入ったんだろう」と後悔します。

大学に行かないことは悪いことではありません。よく考えずに進むと痛い目を見ることとなります。絶対に進路のことについてはよく考えて下さい。二転三転するかもしれませんが、そうでないかもしれませんが、高校2年生に上がる時には文系に進むのか理系に進むのかで選択があるので、少なくともそこまでは大まかに決めておくべきです。細かく決めるのはそのあとでも遅いことはありませんから、とにかくよく考えて決めるようにしてください。

三つ目に、根拠もない過剰な自信は捨てましょう。はっ

きり言って邪魔でしかありません。

俺はもう大丈夫、ここに受かれる、と思えば負けです。それ以上の進展がなくなります。そういう自信は試験本番の直前に気合を入れるために持つべきではありませんが、普段そのように思っていると後々絶対に後悔します。受験に絶対はありません。学校の先生も言うておられることが本当のことで、絶対受かるということはありません。逆に、自分は馬鹿だと卑下しすぎることもダメです。向上意識を持つことと自分はバカだとかた卑下することは全く違います。また、失敗したときの防衛線を張るのもやめましょう。いわゆる言い訳です。逃げ道はふさいでおいたほうがいいです。失敗としっかり向き合きましょう。

ただ、ここで言いたいのは自信を全く持つな、だとか、失敗に対して何も言うな、ということではないです。自信は過度なものでないなら持つておいたほうがいいことは間違いのないし、失敗したら後悔もあれば悔しさもあるだろうから、言い訳じゃなくて次どうするかを持つておけばいいと思います。

最後に、周囲の人とは絶対に仲良くしてください。

これは僕の実体験でもあるのですが、大事な時期に家族と喧嘩したりすると勉強に手がつかなくなったりして大変なことになります。家族ともそうですが、学校の先生とも友達とも仲良くしてください。勉強的には個人戦であっても心の上では受験は団体戦ですから、平常を保つためにも、周囲の支えてくれる人たちを、仲良くしてくれる人たちを絶対大事にしてください。孤独では受験に立ち向かえないことのほうが多いと思いますから。

ここで僕の合格体験記は終わります。体験とか少ししか語っていませんが、そこはいろんな人の体験を見てみてください。きっと僕のこれよりもっと勉強に実践的で参考になるであろうことがいっぱい書かれているはず。来年再来年の読者に幸あれ。

## 徳島大学

入学コース▷特進コース  
卓球部  
西宮市立瓦木中学校出身

Ⅲ-7 仲田 怜英



## 1. 3年間の思い出

僕は卓球部に所属していました。1日休みというのはあまりなく、勉強する時間は限られていましたが、とても楽しく過ごすことができました。2年生の終わり頃までは、指定校推薦を利用しようと思っていたので、定期テストだけは良い点数を取ることを目標にしていました。

## 2. 進路を決めた経緯

報徳学園に入学したとき、勉強は好きではありませんでしたが、指定校推薦で関関同立を目指したいと思っていたので、1年生の頃から勉強を頑張っていました。僕が国公立に興味を持ったのは2年生のときに報徳学園の大学見学で徳島大学を見てからです。3年生になり、指定校推薦を狙える順位で、国公立か指定校推薦かで悩みました。最終的には国公立を目指すことにしました。理由は僕が選んだ学科は実験が多いので、研究費が多く人数が少ない国公立の方が良いと思ったからです。また自分の学びたい分野の知識をつけるためにも3月まで大学受験を頑張ったほうが良いと思ったからです。



### 3. 勉強方法や時間の使い方

行きたい大学の科目の配点を見るのがおすすめです。大学によって配点も様々で、それをみて各科目の勉強時間を決めるのが良いと思います。また、理系では数学が重要です。大学の配点を見ても英語の配点が低い私立の入試制度や、国公立でも2次試験で英語がない大学も多いです。ですが理系で数学は高配点かつ、必要なことが多いので、数学は時間をかけてやる必要があります。数学が苦手な人は網羅系の参考書をやると良いと思います。また共通テストを受ける予定のある人はどの科目も速く正確に解く習慣をつけると良いと思います。僕は共通テストがすごく苦手でした。本番でも取りたい点数は取れませんでした。それは解くスピードが遅かったからだだと思います。授業中に基礎的な問題でも速く正確に解くことを意識することが大事だと思います。

### 4. 入試の攻略方法

僕は共通テストでは国語が苦手だったので、国語の配点が低く、2次試験で得意科目が使える大学を探していました。得意科目を使い、苦手科目は使わないようにしていました。また、過去問や入試内容を見て一番配点が高い内容から勉強していました。例えば、数学で数Ⅲが大半を占める大学や、数Ⅰ数Ⅱが多い大学など様々です。第一志望合格の鍵は自分が何を優先的にやるべきかをしっかり分かっていることだと思います。しっかり計画を立てて第一志望合格に向けて頑張ってください！応援しています。

## 徳島大学

入学コース▷Ⅱ進コース  
軟式野球部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 大泉 勇人



この合格体験記を書くことになり自分なりに6年間の勉強を振り返って、その学校生活を交えながら失敗談を中心に述べていきたいと思っています。

中学、高校と軟式野球部で部活に明け暮れ、部活中心の生活を送っていました。高校軟式の練習は平日は遅くても19時には学校を出て朝練もなく、日曜の練習も11時には終わりオフも週一あるのでかなり勉強する時間を取れはらずでした。

しかし家に帰ると寝落ちすることも多くあり、また、ゲームや阪神戦を観たりと受験生とはとても思えないような生活をしていました。夏から焦りを感じ、勉強量を増やそうとしました。しかしいざ勉強量を増やそうにもそれまでに楽な方に逃げていたこともあり、なかなか周りの受験生と同じような量をこなすことができませんでした。

これを読んでいる皆さんには(高1でも高2でもまだ始めていないという人は特に)例えば数学のチャートの問題(問題が難しくても解説を読めば理解出来るくらいのレベルを選んで)を、まずは1日1問からでもいいので始めてみてください。ただし最初から何時間もやろうとしても続かないので、「きちんと続けられる」という量を、これを読んだ日から実践してみてください。私が伝えたいことは、より早い段階から勉強習慣をつけておくことが大切です。

ここで何の教科をやればよいか分からない人は、まず数学と英語からやる事をお勧めします。どうしても自分が得意な教科ばかりしてしまうかもしれませんが最初のうちはそれでも構いませんが、勉強習慣がついたら前述の2科

目や苦手科目をやるのが大切です。

僕はずっと得意な科目ばかりして苦手科目から逃げてしまった結果、共通テストで苦手科目が悲惨な結果になりました。皆さんは同じ失敗をしないようにしてください。

以上のことから、僕の合格体験記が少しでも皆さんのお役に立てれば嬉しいです。

部活に一生懸命取り組んだり、休み時間や行事も楽しみ、しっかり今しかない青春を感じてください。

皆さんの健闘を祈っています！

## 高知大学

入学コース▷進学コース  
宝塚市立御殿山中学校出身

Ⅲ-7 桑田 利也



### ① 3年間の思い出

報徳学園で過ごした三年間は私にとって大変貴重なものだったと思い返します。私は当初、学校について何も調べていなかったため理数系のコースが無いとは知らず進学コース生として報徳学園に入学しました。クラスメイトは運動部員がほとんどで、馴染めるか不安でしたが皆暖かく接してくれました。もともと理系を志望していたこともあって勉強し、Ⅱ年進学時に転コースを認められ、特1理系コース生として進級しました。進級後理系科目は成績が伸び悩み、Ⅲ年進級時には文転も考えていましたが先生の説得もあって思い留まり、結果第一志望の大学に合格することができました。また、この過程でキャリア甲子園に取り組み、その経験を受験等様々に活かすことができたことから、学校行事を大切にしていたよかったです。学校生活の中で校則とか、少し不満に思う部分もありましたが、今の自分があるのは報徳学園の生徒であったおかげであり、先生方に親身になって指導していただいたおかげだと非常に感謝しています。

### ② 進路を決めた経緯

私は幼いころから水圏生物に親しみ、また地震の研究に興味を持っていたこともあって将来はJAMSTEC(海洋研究開発機構)に勤めたいと考えて、いろいろと調べるうちにJAMSTECと深い関わりを持つ高知大学の存在を知りました。後に自身が林業や農業に触れるにつれて、森林保全、水圏生物の保全に強く関心を持つようになりました。この時から、漠然と高知大学が明確な目標となりました。

### ③ 入試の攻略方法

私が利用した入試方式は総合型選抜というもので、時期や受験内容が一般選抜とは異なりますが、参考程度に私が受験までに取り組んでいたことについて記述します。

私の合格した農林海洋科学部の試験の中に、講義型小論文があります。大学講師の講義を受け、その後出題される小論文を講義内容に順じて記述する、というものです。私はこの試験対策として、NHKのクローズアップ現代を視聴し、内容を時間内に一定字数でまとめる。というのに取り組みました。文章としてではなく音、映像として存在するものを、要点を明確に、かつ時間内にまとめることで、講義型小論文だけでなく、様々な種類のある小論文や面接、現代文等の試験にも活かすことができると思います。作文力に不安がある方はぜひ取り組んでみてください。



## 山口大学

入学コース▷I進コース  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-7 近藤 凌央



## 高校生の皆さん勉強をしていますか？

今回は皆さんが勉強をするような合格体験記を書こうかと思いましたが、そのような内容はおそらく皆書いていたりして同じ内容になると思うのでちょっと違う方向で書いてみようかなと思います。

極論、人間いつか死ぬので勉強しても意味ないです。

ただ勉強しなかったら死までの人生が苦しくなる確率が高まるだけです。学業でいい成績を取められていなくても、他で成功する人だっています。

しかし起業して成功したいかと思っても、また別の勉強をする必要があります。学校の勉強から逃げて、生きていこうと思ったら勉強が一生付きまといまいます。学校の勉強から逃げたら、また1から他のことを勉強しないといけなくなります。そう考えたら、今までやってきた学校の勉強のほうが楽じゃないですか？1からじゃない、要するに今の勉強が一番楽だからやってもいいのではないかということです。

言いたいことは本当にこれだけです。

僕自身受験のことは全部遅かった人間なので、わからないことがあったら早めに調べるだとか、先生方に聞いてみるとかしないと本当に取り返しのつかないことになってしまうこともあるのでそこだけは注意してください。

最後にそれっぽいことを言っておくと、受験は自分のメンタルやモチベーションとの戦いです。自分をだませる人が勝つから、自分の扱い方とかやる気の出させ方とかを知っておくと非常にいいと思います。

高校生の皆さん、受験に負けずに頑張って良い結果を出すことを願っています。

## 鳥取大学

入学コース▷II進コース  
数学研究部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 山田 凌功



## ～学校生活について～

一言でいうと、とても楽しい学校生活でした。いつも昼休みに外に出て遊びに行き、野球したりサッカーしたりずっと仲のいいクラスでした

中学生の時の思い出は遺跡巡りです。まだ報徳に入ってもないころにクラスメイトと旅行みたいな感じで鎌倉や日光にいきました。その時自由時間を友達と二人で回って、バスにかえるのが遅くなって少し怒られたのが今でも覚えています笑

勉強合宿は意外と楽しかったです。勉強している間も全然苦ではなかったです

## ～私生活について～

中学1年から高校2年の秋までは家での勉強は小テストと定期考査の勉強以外ほぼ何もしてなかったです。高2の

秋からは少しずつ受験を意識し始めて好きな科目の勉強を増やしていきました。

## ～進路について～

志望校は夏ごろまで色々迷ってしまいました。高2からたくさんのおーキャンに参加しました。いろんな実践模試を受けたりしました。僕が少し失敗したなど思ったのは、やっぱり自分のレベルを見極めてはやく志望校を決めていればよかったと思います。

鳥取大学に決めた理由は特に英語が苦手だったので二次試験で英語がないところを選びました。

## ～勉強方法について～

・**数学**：数学はずっと好きだったので高校1年ぐらいに友達に誘われて赤チャートを一日5問ずつぐらい友人と電話を繋いでわからない問題があれば聞く感じで進めていきました。途中ぐらいから友達がめっちゃ早くなり始めたので、そこからは自分のペースでやりました。1A2Bを終わらせた後プラチカに入りました。プラチカはかなり難しく、だいたい時間がかかってしまったので、先に数3のチャートをするのがおすすめです。僕が今まで模試などいろいろ受けた感じ、整数や複素数、指数対数が点数に差が開く単位だと思いました。なのでその単元を得意になっているいいと思います

・**物理**：僕は最初物理がかなり苦手でした。予習をしていなかったのが学校の授業を聞いてもわからないことも多かったのですが、駿台の高井先生の授業を聞いてから授業を聞くとよくわかるようになってきました。学校の授業だけでわかる人は、そのままついて行ってもいいのですがわからないことが多くなると、その後の授業がもっとわからなくなってくるので塾に行き、基礎をもっと固めてから学校の授業を聞くのがいいと思います。僕が塾の先生でおすすめするのは高井先生ですね。どんな説明もめちゃくちゃ丁寧に細かく教えてくれます。物理の自習は物理のエッセンスをまず一通りやると基礎がつくのであとは少し応用の問題集をやればいいと思います。僕は重要問題集は難しかったので良問の風を解いていました。

・**地理**：地理は村瀬のゼロからわかる地理B系統地理編と地誌編両方をしていれば絶対上がります。やり方は読みながら大事やなと思うところに付箋を貼りマーカーを引くだけでいいです。系統地理は数年でグラフが変わったりしないのでグラフや表だけ色を変えて付箋をして付箋になんのグラフなのかを書いていると復習がめっちゃ楽です。一周しただけでも20点ぐらい上がりました。最初地理の模試受けた時は30点台だったのが共通テスト本番では72点まであがりました。おそらく共通テストの2日前ぐらいに読み直していればあと10点くらいは上げられたかなと思います。

僕は共通テストを受け終えて次の日に自己採点したときは浪人かなと思いました。演習をしている時よりも数学は20点強下がったり、そのほかの教科もだいたい下がってました。共通テストの勉強を始めた時と同じくらいで、さすがに落ち込みました。けどずっと落ち込んでいるわけにはいけないので2,3日くらいでふっさきてかなり勉強に集中しました。共通テストの前も11時間ぐらいだったのでもう1,2時間増やし、二次試験の数学で出る数3の青チャートをすべて解きなおしたり物理のよく間違えてたところをときなおしたりしていきました。私立の前期は対策が間に合わず全部落ちてました。そこでも落ち込んでる

暇はなく、やっと中期ぐらいでだいぶ点数が取れるようになっていき、国立の前期に間に合った感じです。

僕が後輩へのアドバイスとしては、一人で勉強をし続けないほうがいいということです。一人でし続けていると普通に頭がおかしくなります。なので朝だけ友達と約束して、金次郎 STUDEO の自習室で勉強を一緒にしたりするのがいいです。どれだけ自分はメンタルが強いと思っても、受験時においては例外です。少しくらい友達と話して勉強時間が削られてもいいです。やりすぎはよくないですけどね笑

最後に共通テストの英語で点数が悪く絶望しても僕は何とかかなりました。先生に合格の報告行った時にも、受かると思っていなかったといわれました笑

これからの受験生は受験勉強が嫌になっても粘り強く頑張ってください!!

## 早稲田大学

入学コース▷I進コース  
私立報徳学園中学校出身

### Ⅲ-8 横山 陽哉



私は6年間、報徳学園で過ごしました。中学ではサッカー部に所属し、高校では高2の4月までサッカー部に所属していました。

私が早稲田大学を目指そうと思ったのは高校Ⅱ年生の夏、実際に早稲田大学に行った時からで、本格的に第一志望にしたのは高Ⅱの3月ぐらいでした。きっかけは元々指定校があると聞いていて、それを使おうと考えていたのですが、その後、指定校推薦の枠がもしかするとないかもしれないと聞いて、それなら自分の力で行ってやるという考えからでした。あとは、これから1年間受験勉強をすることになった時に自分の心の底から行きたい大学を目指そうと思ったので早稲田大学を志望しました。

私は高Ⅱの3月から本格的に受験勉強を始めましたが、受験勉強するのに必要な

「毎日勉強する」習慣は高Ⅰぐらいにはすでに完成していたと感じています。と言っても高Ⅰでは部活動をしていたので、1日1時間ぐらいしかやっていません。私がしていたのは、その日の授業の復習と英単語、日本史の一问一答です。復習は、置き勉をせずに教科書やノートを家に持ち帰り、明日の用意をする時に鞆から全て出してそのついでにその日やったところをペラペラ見ていた程度でした。

高Ⅲになってからは次の通りです。

- 英語：英文法はスタサブの関先生のトップレベル英文法を見て、そこで新たに学んだことを自分のVintageという参考書に書き込んで勉強していました。受験を振り返って関先生の授業はマストと言っても過言ではありません。

長文は10月ぐらいまでは関関同立の問題を解いて、そこから早慶の問題と関関同立の問題を交代で解いていました。直前期は早稲田の問題とビジネス語彙対策として慶應商の問題を解いていました。

英単語、熟語帳はターゲット1900を使っていましたが、早慶では+α必要なので過去問を解く中で知らない単語、熟語を見つけるとノートにメモして覚えるようにしていました。これは早稲田入試本番に本当に役に立ちました。

英語では音読はとても大事だと思います。音読は即効性が無いので続きにくいですが、長いスパンで絶大な効果があります。私は1月になって急激に英文を読むスピードが速まりました。これは8月から始めた音読の効果だと思います。音読は1日30分ぐらいで志望校のレベルの長文一題を5日間続け、また違う長文を読むのを続けていました。

- 日本史：日本史は授業でやったことを復習し、それを忘れないでいると受験期になってから楽です。私は日本史の授業があるとその日の分を復習で覚えてそれを続けていました。しかし、多くの人が定期テストでその範囲が終わるとその範囲は復習しなくなり忘れてしまいます。それはあまりにも非効率です。そこで定期テストが終わってもその範囲を復習して忘れないようにしていると後々楽になります。

受験期は自分の決まった、効果のある勉強法を繰り返すことが重要です。私の場合は【教科書を読む→図解整理ハンドブック（旺文社）→図録→一问一答（東進）→資料一问一答（東進）→問題演習】でやっていました。ペースとしては2週間で1周するようにしていました。問題演習は標準問題精構や早稲田の日本史といった問題集や関関同立や早慶の過去問を使っていました。また、演習で出てきた、教科書にはあまり載っていないけれど難関大ではよく出る知識は教科書にはメモしておく役立ちます。

一方で教科書に暗記ペンなどで線を引くのはナンセンスです。なぜなら教科書は太文字以外にも大切なことが書いてあり、線を引くと教科書のほとんどに線が必要で教科書が読みにくくなります。また、線を引いたところにしか目がいなくなり線が引いていないところの重要な知識を見落とすかもしれません。だから教科書には線を引かないほうがいいのです。また、暗記のコツとしては「覚えなきゃ」と焦ってやるよりも脱力して焦らずやることです。だからこそ余裕を持つために早く始めた方がいいです。

- 国語：国語は漢字、古典単語、漢文の暗記系は覚えて、あとは毎日問題をひたすら解いていました。問題演習は徐々に早稲田レベルまで上げていって直前期はひたすら早稲田の過去問を解いていました。また、スタサブを使ったりもしました。国語に関してはこれだけです。問題慣れすると解けるようになってくるという決まり文句がありますが、本当にその通りで、数をこなして毎回どこで間違えてどう答えを導き出すのかを振り返ることで自然と力がついてきます。他に強いて言うなら「暗記物は早めに」です。

これらが私の勉強法でした。

入試の攻略方法としては最後まで諦めないことです。私も早稲田の入試は最初の英語の手ごたえが全くなくて途中で諦めそうになりましたが、試験の最後まで諦めなかったのが、良い結果を出すことが出来ました。これから受験する人も最後までどれだけ出来なくても「もがき続けて」ください。

これが私の合格体験記です。これを読んだ人の中に一人でも参考になった、自分も早慶を目指したいという人がいれば嬉しいです。受験は厳しいですが頑張ってください。





## 早稲田大学

入学コース▷I進コース  
相撲部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-9 岡本 塁



私は中学校から報徳学園に6年間在籍していました。6年間相撲部に所属しており、高校は特Iコースで文武両道を目指して頑張っていました。

相撲では、入学当初、部で一番弱く悔しくて泣きながら帰る時もありました。相撲を辞めたい時期もありましたが、諦めずに努力して昨年3月の全国高等学校相撲選大会の100kg級で優勝し、日本代表の候補にも選ばれました。しかし週6回ある練習と自主練で疲れ切り、勉強にはあまり取り組めませんでした。毎朝行われる小テストで補習にかかったり、定期テストでは赤点を取ったりしていました。入試直前まで試合があり、勉強をする時間を確保することは困難でした。そこで隙間時間を活用することを大事にしました。昼休みに図書館で勉強したり、部活後金次郎スタジオで20時30分まで残って勉強していました。試験は小論文と面接がありました。私は文章を書くことが苦手です、高3の7月頃に初めて入試対策で小論文を書いた際は上手くまとまらず、全く書けない状態でした。それから毎日、天声人語を読んで15分以内に感想文を400字で書き切る訓練をしました。

入試1ヶ月前には早稲田大学の過去問だけでなく、防衛大学や慶應大学などいろいろな大学の小論文の問題集に取り組んで対策を重ねました。面接は学校先生に対策をしていただきました。他の大学ではなく、なぜ早稲田大学を選んだのか、自分のやりたいことや、志望理由を明確にすることで、自分の言葉で伝えられるようになりました。小論文も面接も書ける、話せるという成功体験を重ねて自信がついてくるところはスポーツと同じだと感じました。できるだけ早めに、担任の先生や、国語の先生に見てもらおうにしてください。

早い時期から担任の先生や教科担当の先生と対策に取り組んでいたことが合格に繋がりました。

最後にこの6年を振り返って、高校生活で1番大事だと思うことは、目標に向かって日々の生活で小さな成功体験を重ねて自信を付けていくことです。勉強でも部活動でも、しんどい時に心の支えとなるのは目標に向かって本気で頑張ってきたという自信だと思います。

残りの高校生活を目指と自信を持って頑張ってください。

## 慶応義塾大学

入学コース▷進学コース  
硬式野球部  
長浜市立びわ中学校出身

Ⅲ-5 林 純司



私は大学で野球をすることを考えて報徳学園高校に入学しました。入学当初は日々の部活動を必死に頑張ることしか考えていませんでした。しかし、先生方や先輩方から大学(推薦)に行きたいのであれば、勉強も必要であるという話を聞き、そこで意識を変え、勉強でも部活動でも人に

は負けないという考え方で3年間過ごしてきました。その3年間で私が大切にしてきたことが2つあります。1つ目は、人の話をしっかり聞き、その上で自分の言葉で説明ができるように理解をすることです。人の話を聞くことは人として当たり前のことであり、授業中や部活動の中でもすごく重要なことです。その次の自分の言葉で説明ができるまで理解をするということが特に重要だと私は考えています。話を聞くことは誰でもできますが、どこまで自分の中で理解ができているかによって、人との差が生まれてくるのだと思います。理解をするためには、相手が何を伝えたいのかを考える必要があります。そのためには、人の話を聞くという基本的な部分がとても大切だと思います。2つ目は、目標設定です。まずは、しっかりとした長期目標を決めます。その目標のために今日の自分は何を達成したいのかを自問自答をして、1日の目標、短期目標を決めます。二宮尊徳先生の言葉にもあるように、コツコツと積み重ねることがゴールへの近道です。私は、毎日設定する短期目標を達成することが積み重ねであるという考え方で過ごしてきました。そうすることで、日々の成長を感じることができ、自分に対して自信が持てるようになります。この自信が学期テストや大会での良い結果に繋がってくると思います。

私はAO入試という形で合格しましたが、入試対策でも先程の2つのことを大切にしておきました。AO入試の勉強をしている時期や3年間の高校野球の中で、何度も苦しいことや悔しいことを経験してきました。その時は両親の事を思い浮かべます。いつも支えてくれている両親に対して感謝の気持ちがあれば、頑張るという選択肢以外思い当たらないと思います。考え方は人それぞれですが、最終的にやるかやらないかは自分次第だと思います。何事にも前向きに頑張ってください。

## 関西学院大学

入学コース▷進学コース  
硬式野球部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-2 富田 幸暉



高校3年間で私が学んだことをお話ししたいと思います。

まず、私は1年生の頃から、大学の進路選択にそなえて、定期考査の点数をとにかくとっておこうと思っていました。定期考査は、当然ながら授業で習うことや教科書に書いてある内容が出てきます。なので、普段の授業をしっかりと受けることが点数をとる最短の近道だと考え、できるだけ授業内で理解できるよう集中して取り組みました。その結果、試験では安定して点数が取れたように思います。また、どれだけ早くからテスト勉強ができるか、これもとても大切なことだと思います。普段から毎日コツコツと勉強をするのが一番だと思いますが、私はテスト前にならないと焦らないタイプだと自分でわかっていたので、テスト3週間前から勉強を始めるというルールを決めました。ただ、私は硬式野球部に所属しており、夜遅くまで練習があったので、その3週間はいつもより朝早く起きて勉強をしました。また、放課後に時間ができたときは金次郎スタジオという自習室で勉強を済ませるようにしました。そういう過ごし方をするので、部活動をしながらも勉強時間を確保することができ、文武両道ができたと思います。

次に、学校の定期考査だけではなく模試も大切だと感じ



ました。模試はとても難易度が高くて、勉強の仕方も分かりませんでした。そもそも正直なところ、模試はどうでもいいものだと思っていたので、模試の最中も分からない問題があれば最後まで解こうとせずにすぐあきらめていました。しかし、学年が上がるにつれて指定校推薦には模試も審査対象であり、これまでの模試の成績も見られると聞いてとても焦りました。それを聞いてからは、模試も頑張りましたが、それまでもっと頑張っておけばよかったと後悔しました。

結果的に私は指定校推薦で大学に進学できたのですが、これは私自身の努力だけでなく、報徳学園と大学との信頼関係や、これまでの先輩方の努力があってのことなので本当に感謝しています。その分、私もこれから勉強に励みたいと思っています。

最後に、報徳学園には部活動をしている人が多いと思いますが、自分なりのルールを決めることで文武両道は必ずできます。自分の行きたい大学、成し遂げたい目標に向かって最後までぶれることなく頑張ってください。

## 関西学院大学

入学コース▷進学コース  
硬式野球部  
西宮市学文中学校出身

Ⅲ-4 内山 翼



私は、指定校推薦で関西学院大学に進学させていただくことになりました。進路を決めた経緯としては、関西学院大学は英語教育に力を入れているので、自分の得意科目である英語を活かすことができると考えたからです。

また、指定校推薦では一般受験の人と比べ早く合格することができ、その後の期間を有意義に過ごすことも良さの1つであると思います。指定校推薦で大学に進学ができるということは、報徳学園と大学の信頼関係や過去の先輩方の努力が成り立つものであることを自覚し、責任を持って大学生活に取り組んでいきたいと思っています。

報徳学園の3年間は学業と部活動の両立で充実した日々だったと感じています。学業では、日頃の授業を怠らず取り組むことが大切だと思います。当たり前のことですが、忙しい日々の中で居眠りをしてしまったり、板書をきちんとノートに取ることを疎かにしてしまいがちです。しかし、この地道な努力の積み重ねが1番周りと差がつく所だと思います。定期考査においては、授業で学んだ基礎知識を問う問題をこなすだけでは周りとの差がつきにくいので、上位を狙うためにはいかに簡単なミスを減らせるかや、数問の応用問題に正解できるかが大切になります。そのため教科書の細部まで完璧に学習し何度も反復してテストに臨んでいました。また私は、英検2級の取得にも取り組みました。学校生活で忙しい中、帰宅後の時間を有効的に活用することで合格することができました。

部活動では、辛い経験や挫折が多く自分の思い通りに行かない高校野球でしたが、仲間と厳しい練習を乗り越え、切磋琢磨し合うことによって得たものはかけがえない思い出になりました。さらに、技術だけでなく人間力も成長させてくれる環境だったと感じています。また選抜準優勝の学年の一員としてチームに貢献できたことはすごく貴重な経験になりました。

先輩の皆さんには、「男」を「漢」に成長させてくれる

報徳学園で、目標の進路を実現させるため1日1日を大切に後悔のない報徳生活を過ごしてもらいたいです。

## 関西学院大学

入学コース▷I進コース  
弓道部  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-8 堂下 優成



僕は弓道部に所属していて、弓道の実績を使い、スポーツ推薦で関西学院大学に合格することができました。

弓道に出会ったのは小学4年の時でした。僕の6つ年上の姉が高校で弓道部に所属していて、姉が弓を引いてる姿を見学しに行ったのが始まりでした。その時から弓道部のある中学に入学したいと思い、報徳学園中学校に入学し、弓道部に所属しました。僕はもともと飽きっぽいところがあり、何かを始めてもあまり続かないことが多々ありましたが、弓道はそんな僕でも全然飽きませんでした。それから、もっとうまくなりたいという一心で練習に励みました。

そんななか、中学2年の頃、関西学院大学弓道部と報徳学園高校弓道部との練習試合に参加できる機会がありました。そこで初めて実際に関学の弓道場に入り、関学の弓道部の方々の弓を引いている姿を見て憧れを抱きました。それから、より弓道の練習に励みながら文武両道を心掛けるようになりました。中3・高Iは一進選抜コースに入り、特に定期テストは頑張るようにしていました。

高IIあたりから大学について、より真剣に考えるようになりました。色んな大学について自分なりに調べてみたり、少し興味の持った大学のオープンキャンパスに行ってみたりして様々な情報を集めました。スポーツだけではなく、大学に入ってから自分が学んでみたいこと・大学を卒業したあとのことなどもじっくりと考えた結果、やはり僕は関西学院大学に進学したいと思いました。

そして、関学の数ある入試方法の中で自分のとりえを最も活かせるのが何かと考えたときに、僕のとりえは弓道だったので、そのとりえを最も活かせるスポーツ選抜入試を選びました。関学のスポーツ選抜入試を受けるには、学校の評定平均やスポーツの戦績がある程度必要です。幸い、なんとか定期テストは頑張っていたおかげで、評定は受験資格の基準に達しており、弓道の戦績も達していました。

関学のスポーツ選抜入試の内容は、1次試験は主に要約問題と小論文と事前に提出する志望理由書や部活の戦績、英検やGTECなどの資格やスコアなどの総合評価で、この入試内容を知った高IIIの春から、急きょ英検の2級を受けることにしましたが、合格することができませんでした。受けた時期がギリギリでもう一度受けることもできなかったため、仕方なく少しでも足しになるかなと思い、英検のスコアを提出しました。2次試験は面接でした。

高IIIの7月くらいに、部活の監督を通して関学の1次試験の過去問を8年分いただきました。そして夏休みと同時に本気でやり始めました。僕のクラスの担任の三木先生の添削がめちゃくちゃ厳しかったので、夏休み中はほぼ毎日担任の先生のところへ通い、志望理由書と過去問の添削を何度も何度もしていただきました。もちろん担任の先生以外にもたくさんの先生方に指導していただきました。

そして夏休みが明けて、1次試験まで残り1週間で過去問8年分が解き終わりました。その1週間は、似たような小論文の問題がほかに見つからなかったため、過去問に似

たような要約問題を探してひたすら解きました。また、他大学の要約問題の過去問にも取り組みました。

僕はもともとちょっと気になったらすぐに調べる習慣があったので、こういった過去問を解く際にも意味の分からない言葉などが出てくるとすぐに調べていました。実際、本番で僕がたまたま調べていた言葉の意味を問われる問題が出てきて、役立ちました。そんなこともあり、なんとか1次試験に合格することができました。

そして2次試験の面接は、とにかく面接でよく聞かれる内容を片っ端からほぼすべて答えられるようにしました。本番でそれが聞かれなくても、何かに役立つと思ったからです。また複数の先生に練習に付き合ってもらいました。そして2次試験当日、実際答えられるようにしていたことは、ほんとに少ししか聞かれなかったのですが、とにかく数をこなしていたおかげでどんな質問にも柔軟に対応でき、結果的に役立ち、無事2次試験も合格することができました。

このように自分の経験を踏まえてアドバイスをする、積極的に少しでも興味を持った大学があれば、自主的にオープンキャンパスなどに参加していったほうがいいです。どの大学に入りたいのか、またはどの入試方法を使いたいのかなど自分の進路について具体的に考えていったほうがいいです。

また、どれだけ部活が忙しいとかでも、課題は必ず遅れずに出すのはもちろんのこと、定期テストも必ず頑張ってください。あと、資格や検定などを早めにとっておくなどです。

自分が今やるべきことをしっかり考えて、それをすぐに行動に移すようにしてください。

きっとそれが合格につながると思うし、自分の将来のためになると思います。

## 関西大学

入学コース▷I進コース

軟式野球部

私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-9 柚之上 暁斗



在校生の皆さん、こんにちは。Ⅲ年9組の柚之上暁斗です。

この度は指定校推薦で関西大学社会学部に合格しました。

まずは自己紹介をします。私は中学校、高校の6年間報徳学園に通いました。部活動は中学校、高校ともに軟式野球部に所属していました。また、高校では生徒会副会長やクラス委員長なども務めていました。勉強の方は高校2年生の時に文系コースを選び、学校の成績表では卒業まで常に3位をキープしていました。

最近の大学受験では、勉強で大学受験する一般選抜のほかに学校推薦型選抜や総合型選抜などといった入試方式があります。今回私が受験しました入試方式は学校選抜型推薦のひとつである指定校推薦で関西大学社会学部に合格しました。指定校推薦では、高校1年生から高校3年生の成績が見られ、大学への志望理由や面接によって合否が決まりました。

高校の成績は基本的に定期考査の成績です。そこで私が定期考査で高い点数を取るためにどんな勉強をしていたか紹介します。まずは、授業をしっかり聞いてください。次

に授業でわからないことが出てきたらすぐに先生に質問するようにしてください。わからないところが後々授業についていけなくなる要因になります。最後に、授業の最初や授業中に行われる小テストで高い点数を取ることを心がけてください。それが定期考査の勉強につながります。定期考査は暗記勝負だと思うのでコツコツ勉強することがすごく大切です。

私は部活動で近畿大会の翌日に定期考査があるということがありましたが、コツコツ勉強することで、テストで高い点数を取ることができました。ほかにも、あなたのクラスで常に成績上位にいる人にも勉強方法を聞いてみるのもすごくいいと思います。

今回私がこの合格体験記で一番伝えたいことは、受験勉強は絶対に早く始めた方が良いということです。受験勉強何をしたらいいかわからないという人も多いと思います。

まずは、簡単なことでいいので毎日続けることができるものをさがしてください。一日英単語20個覚えるや、今日の授業の内容を復習するなど少しでもいいので続けることを大切にしてください。

また、新しい学年になったら思い切って何か新しいことに挑戦してほしいです。新しいスポーツを始めたり、生徒会に入ってみたりなど最初はミスをたくさんして恥ずかしい思いをするかもしれませんが、しかしそこでしか見ることのできないものがたくさんあります。もしかしたら新たな地で自分の得意なものを見つけることができるかもしれません。それは受験でも活きます。私は高校3年生で生徒会に入り、地域ボランティアやインターンなどに参加し、さまざまな経験をしました。今までは大人数の前で話するのは苦手でしたが生徒会での経験のおかげでいまでは少しずつ人前に出て話せるようになり、大学受験での面接では自分のことを堂々と話すことができました。今年こそはなにか頑張ろうと思っている人はたくさんいると思います。次の学年からは毎日1時間勉強するとか、毎日筋トレをしようとか。考えているだけじゃ何も変わりません。行動に移し、続けることですぐには結果に出ませんが必ず力はついてきます。自分を信じて頑張ってください。

数ある中から私の合格体験記をここまで読んでいただきありがとうございました。あなたのクラスの人でこの合格体験記が配られたときすぐに鞆や机に入れている人や捨てている人がいるでしょう。しかしあなたは今この合格体験記を読んでいるということは少なからず大学に合格したいという気持ちがあるからだと思います。その気持ちを大切にしてほしいです。

もう一つ。合格体験記と同じく不合格体験記も配られると思います。そちらのほうも一緒に読むこともお勧めします。合格体験記や不合格体験記を読むだけでなく読んだ後、行動に移すことが大切です。残りの学校生活も楽しんでください。





## 関西大学

入学コース▷進学コース  
硬式野球部  
神戸市立本山南中学校出身  
Ⅲ-6 **中井 麻音**



私の兄が2人とも報徳学園高校出身だったので、報徳に入学する前から、報徳の進路の内容については、母から具体的に聞いていました。高校1年生の時は、漠然と大学に進学したいと考えており、進路選択の時に自分の行きたい大学を志望できるように、特に定期テストに力を入れてきました。

私は硬式野球部に所属していて、毎日遅くまで練習がありました。テスト1週間前からは、部活動の時間の中に勉強の時間が組み込まれるものの、定期テストで上位を目指すにはそれだけではとても時間が足りませんでした。だから私は以下のことを意識して勉強することで、3年間常に上位をキープすることができました。

### 1. 自分で勉強する時間を作る

テスト勉強はテスト2、3週間前から始め、テスト1週間前からテスト最終日まで、早起きをして取り組みました。

### 2. 時間を効率良く使う

授業で習ったことが分からず、テスト週間にもう一度復習する時間は惜しいと思っていたので、授業はその都度しっかりと聞き、その時間に理解することを意識しました。また勉強時間は授業と同じく、50分勉強したら10分休憩する、というサイクルでメリハリをつけることで集中できました。

### 3. 対策と見直し

何度もテストを受けることによって、だいたいの出題傾向が分かってくるので、どういう対策をしたら点が取れるのかを考え、自分のやり方で勉強していました。見直しは、テスト当日の問題を解き終わった後の見直しと、テスト返却後の見直しです。テストにおいてケアレスミスが1番もったいないのと、上位を目指している私にとってはそれがすごく命取りになるので、問題を解き終わった後に時間があれば、自信があってもしっかり見直しをしていました。またテスト返却後に間違えたところを見て、なぜ間違えたのかをチェックし、次のテストで同じ間違いをしないように気を付けました。

### 4. 目標を設定する

私は大きな目標（関西大学に進学したい）とそれを達成するための小さな目標（定期テストでコース順位〇位を取る等）を設定していました。目標設定でモチベーションを保つことができ、3年間頑張る気持ちを維持できたと思います。この4つの取り組みは、中学の頃から意識付けてきました。

私のように指定校推薦で進学したいと考えている人は、高校1年生の最初の定期テストから一生懸命取り組むことをおすすめします。また定期テストの点数だけではなく、評定や模試の結果も重要なので、提出物はしっかりと出して、模試も軽視しない方が良いと思います。また大学のレベルが上がるにつれて、資格が必要になる場合もあるので、志望校が決まっている人は、資格取得も頭に入れておいて下さい。3年間はあっという間です。皆さんも後悔することなく、学校生活を過ごして下さい。最後になりましたが、私が指定校推薦で大学に進学できるのは、今まで励まして

くださった先生方や競い合える同級生がいたからだと思っています。3年間本当に有難うございました。

## 同志社大学

入学コース▷選抜特進コース  
少林寺拳法部  
西宮市立上ヶ原中学校出身  
Ⅲ-10 **渡邊 壮貴**



### 1. 3年間の思い出

僕は少林寺拳法部に所属していて、部活動を終えた後毎日自習室へ行き1時間ほど勉強する日々を送っていました。高3の7月末まで部活動をしており、本格的に受験勉強を始めたのは8月からでした。他の受験生はもうすでに本腰をいれていたの、僕は大きく遅れをとっていました。そのため8月からは毎日人一倍勉強し、第1志望校の判定をE判定からC判定まで上げることができました。しかし共通テストで失敗してメンタルがきつくなり、自分の志望する大学を受けることができませんでした。そして徳島大学と同志社大学に合格しました。

### 2. 進路を決めた経緯

共通テストを受けるまでは理工学部とは全く違う学部を目指しており、その学部しか見ていなかったのですが、私立出願時の面談で担任の先生から私立1校以上必ず受けた方が良いと言われ、同志社大学へ出願しました。高3の7月末に部活を引退した後成績が伸びており、共通テストも取る気満々でした。しかし、共通テストで失敗してしまい自分の志望校へ出願できず、浪人も考えましたが自分のメンタルが持つのかどうかを考えれば考えるほど怖くなり、今受かっている大学に進学しようと思い、同志社大学理工学部機械システム工学科に進学することに決めました。

### 3. 勉強方法や時間の使い方

～数学～

とにかく青チャートをやりまくる。

～英語～

単語を早く終わらせてから英文解釈と長文演習をやりまくる。

～物理～

基礎を固めて重要問題集をやりまくる。

～国語、地理、化学～

わからない。

### 4. 入試攻略法

合格すると嬉しいので私立は必ず受ける。

何事にも妥協せず目標へ突き進む。

疲れたら15分仮眠をとる。

苦手教科優先。

### 5. 最後に

みなさんの第一志望校へ合格することを願っています。





## 立命館大学

入学コース▷進学コース  
水泳部  
伊丹市立笹原中学校出身

### Ⅲ-4 竹内 慶悟



私は、4月からスポーツ推薦で立命館大学に進学させていただくことになりました。私が進路を決めたのは高校Ⅲ年生になってすぐの5月初めごろです。私がこの大学に進学を決めた理由は2つあります。

1つ目は、水泳部の練習を体験した際、チームの雰囲気がとても良いと感じたからです。先輩方の様子などを見て、このチームならより自分が成長できると感じました。2つ目は、とても興味深い学部があったからです。食マネジメント学部は、食について多角的に学ぶことができるのが特徴の学部で、そこでの学びを将来に活かせるのではないかと考えました。

私の学園生活の思い出は、仲間たちと協力し、切磋琢磨した日々でした。例えば、小論文や面接の練習も1人でやるのではなく周りに支え合える仲間がいたから乗り越えられました。またクラスメイトにも全国で活躍する人がいて、その人たちから毎日刺激をもらい、自分も負けたくないという気持ちでいました。そういった仲間が周りにいたことが最高の思い出となっています。

次にスポーツ推薦の試験のことについてお話しします。前提としてスポーツ推薦はスポーツだけでなくテストの点数や評定もとても重要になりますので、授業や提出物もしっかりしなければなりません！また、私が受験で一番苦労したことは面接です。面接は基本、志望理由書をもとに行われます。そのため自分の書いた志望理由書の内容を完璧に把握しておく必要があります。さらにそこから、詳しく内容について聞かれますので、出来るだけ早いうちから準備をして何回も練習することをおすすめします。忙しいかもしれませんが顧問の先生や担任の先生などをお願いして練習することで本番も自信を持って臨めると思います。

最後に、私は報徳学園で過ごした3年間がとても楽しかったです。大変なことももちろんありましたが、今となってはどれも最高の思い出です。皆さんも自分の目標や希望する進路の実現に向けて日々頑張ってください！心から応援しています!!!

## 近畿大学

入学コース▷進学コース  
サッカー部  
山口市立渦上中学校出身

### Ⅲ-2 福江 泰河



私は、報徳学園サッカー部に縁があり、山口県から親元を離れて寮に入り、3年間サッカー中心の生活をしてきました。学校を終え、寮に帰って洗濯や食事をすると疲れてしまい、なかなか勉強する時間は作れませんでした。そのような生活が続き、このままではよくないと思い、私は学校に登校してから予習・復習をするようにしました。また、少しでも時間を効率的に使うために休み時間は授業の復習をするようにしました。そのため、授業の内容はよく理解することができるようになりました。このことから、忙し

い生活の中でも空いた時間を見つけてコツコツ勉強することが大事だと思いました。また、私は定期考査1週間前ではなく、2週間前から数学の計算や、社会の暗記の勉強をするようにしたのですが、そうすることでテストの傾向をつかむことができ、徐々に点数が上がっていきました。だから、皆さんも早め早めに試験勉強を始めることで自分の取りたい点数がとれるようになると思います。

次に大学選びについてのアドバイスですが、まず将来自分がしたい仕事を考えておくことが大切です。それをもとに自分の学びたいことを考え、学科を決めるといいと思います。また、行きたい大学はだいたいでもいいので早めに決めておくとういいます。私は、指定校推薦で大学に行かせてもらったのですが、早めにそういったことを想定しておくことで、定期考査でどのくらいの点数が必要かわかり、準備をすることができました。過去に担任の先生もおっしゃっていましたが、1年生からしっかり勉強することが、あとあと本当に大切になってきます。だから、最初から手を抜かずにしっかり勉強をして試験を受けてほしいです。最後に、わからない問題は後回しにせず、その日のうちに理解するようにするとういいます。少しでも参考にさせていただけると嬉しいです。

## 甲南大学

入学コース▷進学コース  
尼崎市立武庫中学校出身

### Ⅲ-3 谷 春樹



私は、指定校推薦で甲南大学に進学させていただくことになりました。私は、部活動に入らず放課後金次郎STUDEOに毎日通い勉強しました。そして、結果として指定校推薦をいただくことができました。この経験から、3年生になるまでにしておくべき3つのことをお伝えします。

1つ目は、わからないことをそのまましないことです。私は、わからないことがあれば授業後に先生に聞いたり、金次郎STUDEOの先生に質問したりしました。わからないことを放置しないだけでも小テストや定期考査の点数は大きく変わると思います。

2つ目は、定期考査前以外の普段の勉強です。定期考査前以外は、スマホを触ってしまったりして勉強する気持ちにはなれないと思います。しかし、ほんの30分でもいいから集中して今日の授業の復習や英検の勉強などを毎日することで、学校や模試の成績が変わってくると思います。実際に、私は集中して勉強をするために金次郎STUDEOを利用して自習をしていました。そこで、自分自身の苦手克服にむけて、英単語の勉強や英検の勉強をしたことで、英語の成績向上につながり、その他の科目も同様に成績を上げることができました。

家に帰ると勉強できない人は、学校でほんの少しの時間でもいいので普段から勉強をすることで定期テストや模試の点数も上げることができると思います。

3つ目は、進路について早くから考えておくことです。私は高校2年生の冬まで志望校や学部、将来の夢が決まっていませんでした。でも真剣に考えないといけないと思い、大学について色々調べることで私の将来の夢が決まりました。そして、それを実現するためには甲南大学の経済学部が最適であると考えようになりました。そして目標が決

まったことで勉強へのやる気が高くなり、学校の成績もさらに上げることができました。私は志望校について考えるのは遅かったのですが、みなさんは早くから進路を決めておいたほうが良いと思います。そのことが、勉強へのモチベーションにもつながると思うので大切だと思います。

私は努力をすれば必ず結果につながると信じています。実際に私は学校や模試の成績を上げたことで実感しました。そのため、勉強が好きであっても嫌いであっても最後まで努力し続けた人が志望校に合格できると思います。

## 龍谷大学

入学コース▷進学コース  
相撲部  
神戸市立湊川中学校出身

Ⅲ-5 村上 拓之



私は龍谷大学文学部哲学科教育学専攻に合格しました。相撲部に所属していたので、高校三年間は、部活動メインで過ごしてきました。一学年上の先輩が龍谷大学へ進学したことで、私も龍谷大学へ進学したいと考えるようになりました。龍谷大学のことを調べると、龍谷大学にしかないカリキュラムや制度があり、ここに進学しようと思いました。私は相撲のスポーツ推薦制度で進学させていただけることになりました。試験内容は面接と小論文だったので、面接練習、小論文の練習をしました。面接練習は一人の先生ではなく、三人の先生にお願いをして面接練習をしていただきました。複数の先生に練習をしていただくことで、違った質問や、アドバイスをいただいて、面接対策は十分にできました。小論文の練習は、国語の先生にお願いをし、色々な問題を用意していただき、その問題をひたすら練習をするということをしました。しかし試験では最初に、面接官から「面接練習で面接の答えを用意されていると思いますが、そのような質問はしません。今から質問することを、自分の言葉で自分なりに表現してください。」と言われました。質問された内容としては、「あなたが考えるコミュニケーション能力とはなんですか」とか、「平等な社会を謳う上で、目上の人に対する敬語とは、平等と言えるのでしょうか」など、とても難しい質問をされました。ですが、私は自分なりの言葉で表現することができました。用意した質問をされないのなら、面接練習は無駄なのでは？と思うかもしれませんが、こうした用意していない質問に対して自分の言葉で表現するために、面接練習は必要だと感じました。小論文では、本番で頭が真っ白になってしまいました。焦りがでて、練習してきたことができなくなってしまいました。何とか書き切りましたが、もっと徹底して小論文対策をするべきであったと感じました。この時に受験の攻略方法とは、勉強も含めて、積み重ねが大切だと感じました。今までしてきたことから自信もつき、落ち着いて本番に挑めるのではないかと思います。私が一年生、二年生のときは全校集会での進路指導部の先生の話は、自分のことだと置き換えずに話を聞いてしまっていました。後輩のみなさんには、高校一年生のときから全校集会などで、進路指導部の先生が言われてきたこと、担任の先生の指導をしっかり聞いて、一年生のときからの定期考査、日々の勉強の積み重ねを大切にしてほしいと思います。三年先の進路を見据えて、積み重ねをしてください。

## 追手門学院大学

入学コース▷進学コース  
サッカー部  
宝塚市立第一中学校出身

Ⅲ-4 岡本 直也



私は公募制推薦入試で大学に合格することができました。これまでのことを振り返ると、私は大学受験が目前になるまで、勉強に対して前向きに取り組むことができませんでした。定期考査では進学コース内で下位の成績を取ってしまうこともあれば、模擬試験の結果も入試直前までE判定ばかりでした。それでも、大学進学は学校の指定校推薦があるから大丈夫だろうと安易に考えていたのですが、高校Ⅲ年生になってからの進路面談の際、担任の先生から指定校推薦が厳しいこと、大学入試を受けるなら模試の偏差値を大幅に上げなければいけないことを聞き、そこで初めて普段からもっと勉強しておけば良かったということに気付きました。それからは、公募制推薦入試に向けて毎日入試対策をしていました。はじめの頃は半分も点数が取れておらず、どこの大学にも受からないのではないかと焦っていました。しかし、それでも諦めずにコツコツと勉強した結果、受験した三つの大学をすべて合格することができました。

私が伝えたいことは、受験勉強を始めるのが遅かったからといって志望校のレベルを下げるのではなく、最後まで諦めずに勉強をすることが大事だということです。もちろん始めるのは早ければ早いほどいいですが、「遅すぎる」と悲観することはありません。ですが、その分準備に向けた勉強は大変になりますので、結局は早いうちから始めておくべきだと思います。

## 大阪体育大学

入学コース▷進学コース  
硬式野球部  
伊丹市立南中学校出身

Ⅲ-3 益山 功也



私は報徳学園での学校生活で文武両道の大切さを学びました。そして、その大切さは総合型選抜で受験すると決めてから、より実感することになりました。

私は高校3年間、硬式野球部に所属していたので、大学でも硬式野球を続けたいと思っていました。そんな私が進路を考えたとき、成績は他の人と比べても平均的だったため指定校推薦で、志望した大学に行ける自信がありませんでした。そこで、受験までの期間と硬式野球を続けることを踏まえて、「総合型選抜」で受験することを決めました。総合型選抜では、自分自身を大学側にいかにアピールできるかがとても大切です。その方法として、私の場合は小論文と面接が課されました。他にも、総合型選抜で他大学を受験した友人に聞くとプレゼンテーションが課されたという人もいました。受験するにあたって、まず大学について知ることが重要です。私は大学について深く調べられていない部分が多くあったので、周りの友人と比べて遅れをとっていました。その遅れを取り返すために、まず取り組んだのは大学について調べることと面接練習です。面接で聞かれそうな質問を考えて、その質問にどのように答える



のかを面接ノートにまとめました。大学について調べるのはもちろんのこと、最近の気になるニュースや印象に残った本についての質問に対しては、新聞を読んで印象に残ったニュースの記事を切り取ってノートに貼り、自分の意見をまとめるようにしました。また、学部に関する専門的な知識を聞かれる可能性もあったため、iPadを活用しながら専門用語も覚えるようにしました。そして、場数を踏んで雰囲気慣れるため、いろんな先生に声を掛けて面接の練習をお願いしました。先生方も、とても親切にアドバイスをしてくださったので、自信をもって当日臨むことができたように思います。また、他の生徒に周りから見てもらいながら練習することも緊張感が出て、とても良い経験になりました。

また、小論文の対策では、必ず1日1つは書くようにしました。国語の先生に添削してもらい、最初まったく書き方がわかりませんでした。徐々に自分の形で書けるようになりました。ここでもオリンピックの話や近年の問題についてのテーマが多く出ていたので、面接の際に新聞を読んで学んだ知識を活用することができました。

私は受験対策を始めるのがとても遅かったです。また、大学についての知識も曖昧だったので早い時期から調べることが大切だと思います。高校生活や3年間続けた硬式野球部での生活がとても充実していたので、自信を持って受験の際に話すことができました。皆さんも高校生活3年間の日々を大切に将来に向かって自分らしく頑張ってください。

## 立命館アジア太平洋大学

入学コース▷I進コース  
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-8 吉岡 太門



私は総合型選抜（A O 入試）という方式で、第一志望の立命館アジア太平洋大学に合格することができました。

私が合格した立命館アジア太平洋大学は、大分県別府市にあり、留学生と日本人学生がちょうど半分の割合で在籍している大学です。

私がこの大学を志望した理由は、私は将来、英語を使って世界で活躍できる人材になりたいと考えているため、身近に生きた英語を学びたい、そしてアジアに対して興味があり、アジアの諸問題を学びたいと思ったからです。

私は高校1年生の時、オープンキャンパスで実際に大学に行きました。行って良かったことは、現地の雰囲気を感じ、学生と直接話して大学について教えてもらったこと、しっかりと目的意識を持った留学生が多くいること感じられたことです。このように、自分が志望している大学のオープンキャンパスには必ず行った方が良いと思います。

私は中学から6年間、報徳学園に通いました。中学生の時は、野球部に在籍していました。高校生になった際は、野球ではなく、ハンドボール部に在籍しましたが、高校一年生までで辞めてしまいました。

また私は中学三年生の時と高校一年生の時は、I進に所属していました。I進だからと言って、関関同立以上の大学を諦めないでください。一般入試では、高校一年生の頃からきちんと勉強すれば、I進でもI進選抜でも関係ありません。もしくは私のように、A O 入試などを使用すれば、

関関同立レベルの大学も狙うことができます。

私が受験したA O 入試の試験内容は、1次試験が文章の要約と小論文、2次試験が面接でした。

まずA O 入試で大事になってくるのが、自分の学校での生活だと思います。欠席数、遅刻数はできるだけ少ない方が良いと思います。ちなみに私は、高校三年間皆勤です。中学は精勤でした。そしてもちろん学校での学習面の成績も大事です。普段から定期テストでしっかりと点数を取り、提出物なども忘れずに出すことも大事です。あとは、部活動をしている人は継続すること、帰宅部の人は、学級委員長や自彊会の役員をやることで、実績になるので積極的に参加することをおすすめにします。ちなみに、私は高校二年生の時は、副委員長をしていました。高校三年生の時は、学級委員長をしています。大学への出願の際には、三年間の学校生活の成果を書類として送るので、高校一年生から真面目に学校に通い、日頃から勉強をして良い成績を取ることで、大学にも好印象になると思います。それに加え、自分をアピールできるものを持っておくとも良いと思います。例えば、部活での実績、勉強では英検、漢検などが良いと思います。実際に私は、面接の際にハンドボール部を辞めたことに言及されてしまいました。また、私は帰宅部で資格も持っていなかったため、出願する際にとっても後悔しました。

小論文の入試対策として私が行っていたのは、日頃から社会のニュースを見て、時事問題に関心を持つことでした。特に私の目指す大学は国際系なので、国際ニュースと国内のニュースを見ていました。そして報道されているさまざまな社会問題などに自分なりの意見を持つことが大切だと思います。この意見を多く持つことで、小論文問題を解くときに有利に解くことができます。小論文の書き方などは国語の先生に自分の書いた文章を添削してもらい、何度も書くことが必要だと思います。

また出願する際に、志望理由書が必要になります。それも大学について調べて、特に自分が大学でやりたいことをメインに書いていき、担任の先生に見てもらい対策をください。例えば、私は東南アジアに興味を持っていたので、東南アジアの社会問題を中心に、大学で学びたいこと、将来の夢を書きました。具体的に説明できるようになった方が良いでしょう。

そして面接対策は、とにかく練習することが大切です。自分自身の経験、志望理由書で書いた内容、大学でやりたいことを具体的に話せるよう練習してください。私は1回目の入試で、1次の小論文には合格したのですが、2次の面接で不合格になりました。私は面接を「ただ話すだけだから楽だ」と舐めていて、試験対策を真剣にしていなかったのが原因でした。そのため1回目の入試の時以上に面接対策を行い、2回目の入試に挑戦した結果、立命館アジア太平洋大学に合格することができました。

将来、A O 入試や指定校推薦・スポーツ推薦で受験をする人は、しっかり面接対策した方が良いと思います。



# 令和6年度入試 報徳学園高等学校 合格状況

卒業生 337名 (進学文系 216名、特I理系 35名、特I文系 55名、特II 31名)

2024/4 現在 延べ数

国公立大学	合格総数	現役	浪人
京都大学	1	1	0
大阪大学	1	0	1
北海道大学	1	1	0
神戸大学	2	2	0
広島大学	1	1	0
北海道教育大学	2	1	1
富山大学	1	1	0
京都教育大学	1	1	0
大阪教育大学	1	1	0
愛媛大学	2	2	0
高知大学	1	1	0
徳島大学	3	3	0
鳥取大学	1	1	0
山口大学	2	2	0
大阪公立大学	2	1	1
兵庫県立大学	3	3	0
防衛大学校(2次)	1	1	0
防衛大学校(1次筆記)	30	29	1
海上保安大学校(1次)	1	1	0
防衛医科大学校(医,1次)	1	1	0
防衛医科大学校(看護,1次)	1	1	0

開関同立	合格総数	現役	浪人
関西学院大学	40	33	7
関西大学	15	15	0
同志社大学	13	10	3
立命館大学	15	12	3
産近甲龍	合格総数	現役	浪人
甲南大学	20	17	3
近畿大学	71	50	21
京都産業大学	33	18	15
龍谷大学	53	33	20
摂神追桃	合格総数	現役	浪人
神戸学院大学	64	55	9
摂南大学	26	21	5
追手門学院大学	36	34	2
桃山学院大学	16	16	0
外外経工	合格総数	現役	浪人
関西外国語大学	20	20	0
大阪経済大学	14	13	1
大阪工業大学	10	8	2
京都外国語大学	6	6	0

早慶MARCH日東駒専	合格総数	現役	浪人
早稲田大学	5	5	0
慶應義塾大学	1	1	0
明治大学	4	3	1
青山学院大学	2	2	0
立教大学	1	1	0
中央大学	3	3	0
法政大学	1	1	0
東京理科大学	3	3	0
日本大学	8	8	0
東洋大学	1	0	1
駒澤大学	1	1	0

医歯薬系	合格総数	現役	浪人
北里大学(医)	1	0	1
金沢医科大学(医)	1	0	1
愛知医科大学(医)	1	0	1
久留米大学(医)	1	0	1
東京理科大学(薬)	3	3	0
立命館大学(薬)	2	2	0
摂南大(薬)	2	2	0
神戸学院大学(薬)	6	6	0
兵庫医科大学(薬)	2	2	0

私大	合格総数	現役	浪人
亜細亜大学	1	1	0
國學院大学	1	1	0
国士舘大学	1	1	0
東京農業大学	2	2	0
日本体育大学	1	1	0
武蔵大学	1	1	0
工学院大学	1	0	1
東京工芸大学	1	0	1
東日本国際大学	1	1	0
淑徳大学	1	1	0
日本福祉大学	1	1	0
中京大学	3	3	0
中部大学	1	1	0
びわこ成蹊スポーツ大学	1	1	0
京都橘大学	2	1	1
明治国際医療大学	1	1	0
佛教大学	6	6	0
藍野大学	1	1	0
大阪学院大学	10	10	0
大阪芸術大学	1	0	1
大阪国際大学	1	1	0
大阪産業大学	84	83	1
大阪商業大学	3	3	0
大阪人間科学大学	1	1	0
大阪成蹊大学	1	1	0
大阪青山大学	1	1	0
大阪体育大学	7	7	0
大阪電気通信大学	15	15	0
関西福祉科学大学	1	0	1
滋慶医療科学大学	1	1	0
四天王寺大学	1	1	0
羽衣国際大学	2	2	0
桃山学院教育大学	14	14	0
森ノ宮医療大学	1	1	0
大和大学	16	14	2
大手前大学	3	3	0
関西看護医療大学	1	1	0
関西国際大学	17	17	0
神戸常盤大学	1	1	0
神戸親和大学	1	1	0
姫路大学	1	1	0
宝塚医療大学	1	1	0
流通科学大学	6	6	0
天理大学	2	2	0
奈良学園大学	1	1	0
吉備国際大学	1	1	0
徳島文理大学	1	1	0
九州共立大学	1	1	0
福岡大学	1	1	0
立命館アジア太平洋大学	5	5	0

大学名	合格総数	現役	浪人
国公立(大学校1次筆記含)	59	55	4
国公立+大学校(最終)	26	23	3
早慶MARCH日東駒専	30	28	2
開関同立	83	70	13
産近甲龍	172	114	58
摂神追桃	142	126	16
外外経工	50	47	3
医歯薬	19	15	4
大学	783	675	108
短大	3	3	0
専門学校	15	13	2
就職	6	6	0

その他学校	合格総数	現役	浪人
愛媛県立農業大学校	1	1	0

短大	合格総数	現役	浪人
関西外国語短期大学	2	2	0
大手前短期大学	1	1	0

専門学校	合格総数	現役	浪人
ECCコンピューター専門学校	1	1	0
トヨタ神戸自動車大学校	1	1	0
関西医科専門学校	1	1	0
関西美容専門学校	1	1	0
阪神自動車航空鉄道専門学校	1	1	0
神戸医療福祉専門学校三田校	2	2	0
大原簿記法律専門学校	1	1	0
大阪警察病院看護専門学校	1	1	0
大阪保健福祉専門学校	1	1	0
伝統文化と環境福祉専門学校	1	1	0
平成リハビリテーション専門学校	1	0	1
明治東洋医学専門学校	1	1	0
慶正社国際医療スポーツ専門学校	1	1	0
N I C	1	0	1

就職	合格総数	現役	浪人
オリックスバファローズ	1	1	0
二所ノ関部屋	1	1	0
兵庫県警察	1	1	0
尼崎市消防局	1	1	0
アドヴィックス	1	1	0
新虎興産	1	1	0
グレイシーパッハ	1	1	0
家業	1	1	0

留学	合格総数	現役	浪人
ドイツ	1	1	0
Sun Moon University, Korean Language Institute	1	1	0



## 卒業生の思いを後輩へ

進路指導部長 森田 悟

今回は現大学1年に在籍する計32名の声を冊子として届けることができました。受験への不安やクラブなどで壁にぶつかりながらも、担任先生や教科担当の先生方を信じてやり切った様子がうかがえます。金次郎 SEMINAR と金次郎 STUDEO を中心に学校をフル活用し、さらには新たに導入されたスタディサプリを徹底的にやり込む生徒も多く、各自の目標に向かって素晴らしい結果を出してくれました。

後輩への熱い思い、アドバイスを思い尽くす限り文章にしてもらっていますので、ほぼ原文をそのまま掲載しています。精一杯頑張り抜いた軌跡が在校生諸君の目標達成の一助となることを願っています。

今号発行にあたり、お世話になりました関係者の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。





# 報徳学園 中学校 高等学校

II進コース I進コース  
選抜特進コース 特進コース 進学コース

〒663-8003

西宮市上大市5丁目28-19

TEL.0798-51-3021 (代) FAX.0798-53-6332

✉: nyushi@hotoku.ac.jp www.hotoku.ac.jp

報徳学園 2024

jp www.hotoku.ac.jp 報徳学園 2024